

平成25年度 事業報告書

学校法人 五島育英会

目 次

I	法人の概要	
1	法人の概要	1
2	建学の精神・教育目標	1
3	学校法人の沿革	2
4	役員の概要	4
5	評議員の概要	6
II	事業の概要	
1	平成25年度の主な事業の概要	7
2	人 事	8
3	広 報	8
4	財 務	9
5	施設設備計画の実施状況	9
6	学校間連携	10
7	収益事業部門	11
8	教学部門（各学校）	11
III	資料	
1	設置する学校の内容	23
2	入学志願者・入学者・在籍者数推移図表	25
3	卒業生の就職・進学状況表	29
4	教職員の概要	30
5	財務の概要	31
6	寄付の受領について	33
7	土地・建物明細	34
8	その他	39

I 法人の概要

1 法人の概要

学校法人五島育英会は、1955（昭和30）年6月、東急グループの創設者である五島慶太を初代理事長として設立した学校法人である。

設立以来、“国際的な視野と情報活用能力を身につけ、健全な精神と豊かな教養をもって国際社会で活躍できる有為な人材を育成し、もって、広く社会に貢献するため、常に魅力ある教育システムを構築する”との目的を掲げてきた。

現在は東京都市大学を頂点とした、高等学校3、中学校2、小学校1、幼稚園1の計8校が東京都市大学の名を冠して“東京都市大学グループ”を形成し、緊密な連携を図るとともに、それぞれの学校がこれまで培ってきた歴史と伝統を活かしながら学園全体の総合力を最大限発揮し、豊かな人間性、国際化社会に適用できる人材の育成を目指している。

- 東京都市大学グループの教育理念
健全な精神と豊かな教養を培い未来を見つめた人材を育成します
- 東京都市大学グループの教育目標
国際的な視野と情報活用能力を身につけ健全な精神と豊かな教養をもって、国際社会で活躍する有為な人材を育成します
- 東京都市大学グループのグループビジョン
都市大グループは、未知の世界を切り開き、未来に向かって挑戦します

2 建学の精神・教育目標

東京都市大学

建学の精神

公正・自由・自治

理念

持続可能な社会発展をもたらすための人材育成と学術研究

スローガン

科学を基盤にサステイナブルな社会発展をめざす

東京都市大学附属中学校・高等学校

公正・自由・自治

東京都市大学等々力中学校・高等学校

- ・ 健康で生命力の旺盛な身体を作る
- ・ 謙虚で清楚な風格を養う
- ・ 科学的・計数的に物事を判断処理できる能力を培う
- ・ 知識技能を磨き、生活に対する自信と実力を得させる
- ・ 生命愛惜の風を養う

東京都市大学塩尻高等学校

- ・ 情操豊かな教養人としての人材の育成

校訓 誠実：礼儀正しく良心に従って行動する

勤勉：骨身惜しまず勉学に勤しみこつこつと努力する

創造：未来を支える社会人として創意工夫に心掛ける

東京都市大学付属小学校

すこやかに かしこく りりしく凛として

世界にはばたく 気高きこどもたち

東京都市大学二子幼稚園

教育目標

- ・ 心身ともに健康で、明るく、たくましい子どもに育てる
- ・ あそびや仕事に意欲をもち、さいごまでやりとげる子どもに育てる
- ・ 自分の思ったことははっきり話し、人の話もよくきく子どもに育てる
- ・ 物事をよく見きわめ、考えて、みんなで協力してあそぶ子どもに育てる
- ・ 正しいことをすなおにうけ入れ、美しいもの、すぐれたものに感動できる子どもに育てる
- ・ 季節の変化や自然現象に、興味や関心をもつ子どもに育てる

3 学校法人の沿革

昭和4年9月12日	武蔵高等工科大学（武蔵工業大学の前身校・ 設立者及川恒忠、手塚猛昌、西村有作）設置認可
昭和13年4月7日	財団法人武蔵高等工科大学（理事長西村有作） 設立許可
昭和13年12月17日	東横商業女学校（東横学園高等学校の前身校・ 設立者五島慶太）設置認可
昭和15年3月25日	東横商業女学校を東横女子商業学校に昇格認可
昭和15年3月30日	財団法人東横学園（理事長五島慶太）設立許可
昭和16年12月8日	財団法人武蔵高等工科大学を財団法人武蔵高等工業 学校に改称認可
昭和19年3月31日	財団法人武蔵高等工業学校を財団法人武蔵工業 専門学校に改称認可
昭和22年3月31日	教育基本法、学校教育法制定施行
昭和22年4月1日	正和中学校（武蔵工業大学附属中学校の前身校） 設置認可
昭和22年4月1日	等々力中学校（東横学園中学校の前身校）設置認可
昭和23年3月10日	東横学園高等学校設置認可

- 昭和 24 年 2 月 12 日 等々力中学校を東横学園中学校に改称認可
- 昭和 24 年 2 月 21 日 武蔵工業大学（工学部）設置認可
- 昭和 24 年 2 月 22 日 正和小学校（東横学園小学校の前身校）設置認可
- 昭和 26 年 2 月 26 日 財団法人武蔵工業専門学校を学校法人武蔵工業学園に組織変更認可
- 昭和 26 年 3 月 1 日 武蔵工業学園高等学校（武蔵工業大学付属高等学校の前身校）設置認可
- 昭和 26 年 3 月 3 日 財団法人東横学園を学校法人東横学園に組織変更認可
- 昭和 28 年 12 月 4 日 学校法人武蔵工業学園を学校法人武蔵工業大学に改称認可
- 昭和 28 年 12 月 4 日 武蔵工業学園高等学校を武蔵工業大学付属高等学校に改称認可
- 昭和 30 年 2 月 21 日 学校法人東急自動車学校設立認可
- 昭和 30 年 3 月 31 日 学校法人武蔵工業大学に学校法人東横学園を合併し、学校法人五島育英会に改称認可
(法人事務局 東京都渋谷区大和田町 98 番地)
- 昭和 30 年 6 月 1 日 学校法人五島育英会（理事長五島慶太）成立
設置学校：武蔵工業大学工学部機械工学科・電気工学科・建設工学科、武蔵工業大学短期大学部機械科・電気科・建設科、武蔵工業大学付属高等学校、東横学園高等学校、東横学園中学校
- 昭和 30 年 6 月 2 日 東横学園附属二子幼稚園設置認可
- 昭和 31 年 3 月 1 日 東横学園女子短期大学（家政科）設置認可
- 昭和 31 年 3 月 1 日 東横学園附属二子幼稚園を東横学園二子幼稚園に改称認可
- 昭和 31 年 9 月 1 日 学校法人玉川正和行学園及び同大倉山学園の合併成立
設置学校：武蔵工業大学工学部機械工学科・電気工学科・建設工学科、武蔵工業大学短期大学部機械科・電気科・建設科、武蔵工業大学付属高等学校、武蔵工業大学付属中学校、東横学園女子短期大学家政科、東横学園高等学校、東横学園用賀高等学校、東横学園大倉山高等学校、東横学園中学校、東横学園大倉山中学校、東横学園小学校、東横学園二子幼稚園、東横学園用賀幼稚園、東横学園大倉山幼稚園
- 昭和 31 年 9 月 17 日 信州電波専門学校（各種学校）設置認可
- 昭和 34 年 10 月 7 日 武蔵工業大学原子力研究所に原子炉設置許可
- 昭和 36 年 4 月 15 日 武蔵工業大学付属信州工業高等学校設置認可
- 昭和 40 年 8 月 28 日 法人事務局移転（東京都渋谷区大和田町 84 番地）
- 昭和 41 年 3 月 18 日 武蔵工業大学大学院工学研究科設置認可
- 昭和 47 年 12 月 27 日 学校法人東急自動車学校と合併契約締結
- 昭和 48 年 8 月 1 日 学校法人東急自動車学校との合併成立

昭和 52 年 1 月 7 日	東急自動車整備専門学校設置認可
昭和 63 年 7 月 25 日	五島育英会ビル竣工、法人事務局移転 (渋谷区道玄坂 1 丁目 10 番 7 号)
平成 9 年 4 月 1 日	武蔵工業大学環境情報学部 (環境情報学科) を開設
平成 13 年 4 月 1 日	武蔵工業大学大学院環境情報学研究科を開設
平成 13 年 4 月 1 日	武蔵工業大学付属信州工業高等学校の名称を 武蔵工業大学第二高等学校と名称変更
平成 19 年 4 月 1 日	武蔵工業大学知識工学部 (情報科学科、 情報ネットワーク工学科、応用情報工学科) を開設
平成 20 年 4 月 24 日	寄附行為の一部変更 (東横学園大倉山高等学校の廃止) 認可
平成 21 年 4 月 1 日	武蔵工業大学を東京都市大学へ名称変更 (その他設置学校 7 校を名称変更) 東京都市大学都市生活学部都市生活学科、人間科学部児童学科の設置、並びに知識工学部自然科学科の設置及び 同学部応用情報工学科を経営システム工学科に名称変更
平成 22 年 3 月 29 日	寄附行為変更 収益事業の追加 (自動車教習所(東急自動車学校)) 認可
平成 22 年 7 月 20 日	寄附行為の一部変更 (東急自動車整備専門学校の廃止) 認可
平成 22 年 7 月 30 日	寄附行為の一部変更 (東横学園女子短期大学の廃止) 認可
平成 25 年 4 月 1 日	東京都市大学環境学部環境創生学科、環境マネジメント学 科及びメディア情報学部社会メディア学科、情報システム 学科の設置並びに工学部生体医工学科を医用工学科、知識 工学部情報ネットワーク工学科を情報通信工学科に名称 変更
平成 25 年 11 月 7 日	寄附行為の一部変更 (東京都市大学塩尻高等学校の自動車科廃止) 認可

4 役員概要

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

定数 理事 10 人以上 16 人以内 監事 2 人又は 3 人

現員 理事 14 名 監事 3 名

区分	氏名	常勤・非常勤 の区分	摘要
理事長	安達 功	常勤	平成 21 年 5 月 27 日 理事就任 平成 23 年 4 月 1 日 理事長就任

専務理事	國分 榮	常勤	平成 15 年 5 月 27 日 理事就任 平成 18 年 5 月 27 日 常務理事就任 平成 22 年 6 月 2 日 専務理事就任
常務理事	広江 秀夫	常勤	平成 18 年 5 月 27 日 理事就任 平成 21 年 5 月 27 日 常務理事就任
理事	北澤 宏一	常勤	平成 25 年 9 月 1 日 理事就任 (東京都市大学学長)
理事	山口 裕啓	非常勤	平成 15 年 5 月 27 日 理事就任
理事	越村 敏昭	非常勤	平成 20 年 5 月 28 日 理事就任 (東京急行電鉄株式会社取締役会長)
理事	上條 清文	非常勤	平成 12 年 5 月 27 日 理事就任 (学校法人亜細亜学園理事長) (東京急行電鉄株式会社相談役)
理事	今村 俊夫	非常勤	平成 24 年 5 月 27 日 理事就任 (東京急行電鉄株式会社取締役副社長)
理事	片田 敏行	常勤	平成 24 年 5 月 27 日 理事就任 (東京都市大学副学長・大学院工学研究科長)
理事	橋本 昌彦	常勤	平成 22 年 7 月 20 日 理事就任 (東京都市大学事務局長)
理事	菅澤 正嗣	常勤	平成 23 年 7 月 22 日 理事就任 (法人本部財務グループ担当理事)
理事	植木 正威	非常勤	平成 21 年 5 月 27 日 理事就任 (東急不動産ホールディングス株式会社取締役会長)
理事	松下 正勝	非常勤	平成 24 年 5 月 27 日 理事就任 (東京都市大学校友会会長)
理事	小林 菊恵	非常勤	平成 3 年 5 月 16 日 理事就任 (東京都市大学校友会副会長)
監事	岩田 哲夫	非常勤	平成 20 年 5 月 29 日 監事就任 (東京急行電鉄株式会社常勤監査役)
監事	吉田 創	非常勤	平成 24 年 3 月 15 日 監事就任 (東京急行電鉄株式会社常勤監査役)
監事	関 博	非常勤	平成 21 年 5 月 27 日 理事就任 ～平成 24 年 5 月 26 日まで 平成 24 年 5 月 27 日 監事就任 (武蔵工業会元理事長)

5 評議員の概要

(平成26年5月1日 現在)

定数 22人以上34人以内

現員 評議員30名

氏名	主な現職等
北澤 宏一	東京都市大学学長
小野 正人	東京都市大学附属中学校・高等学校校長
原田 豊	東京都市大学等々力中学校・高等学校校長
赤羽 利文	東京都市大学塩尻高等学校校長
重永 睦夫	東京都市大学附属小学校校長 東京都市大学二子幼稚園園長
湯本 雅恵	東京都市大学工学部長
山本 尚生	東京都市大学知識工学部長
吉崎 真司	東京都市大学環境学部長 東京都市大学環境情報学部長
近藤 雅雄	東京都市大学人間科学部長
橋本 昌彦	東京都市大学事務局長
白石 明	東急自動車学校校長
鈴木 照海	法人本部総務グループ担当
小山 欽也	法人本部財務グループ財務担当部長
片岡 昭博	東京都市大学事務局国際部長
松下 正勝	東京都市大学校友会会長
吉田 勝	東京都市大学校友会副会長
松村 慶一	東京都市大学校友会世田谷キャンパス常任幹事
小林 菊恵	東京都市大学校友会副会長
川辺 加代子	東京都市大学校友会等々力キャンパス常任幹事
安達 功	学校法人五島育英会理事長
山口 裕啓	学校法人五島育英会前理事長
越村 敏昭	東京急行電鉄株式会社取締役会長
上條 清文	学校法人亜細亜学園理事長 東京急行電鉄株式会社相談役
今村 俊夫	東京急行電鉄株式会社取締役副社長
植木 正威	東急不動産ホールディングス株式会社取締役会長
片田 敏行	東京都市大学副学長 東京都市大学大学院工学研究科長
國分 榮	学校法人五島育英会専務理事
広江 秀夫	学校法人五島育英会常務理事
曾禰 韶夫	
泉水 堯	学校法人亜細亜学園専務理事

II 事業の概要

1 平成25年度の主な事業の概要

東京都市大学グループの教育理念、教育目標に基づき、持続的な成長に向けて魅力と特色ある学校づくり等、グループ全体の質的向上に取り組んだ。

東京都市大学グループの中核である東京都市大学では、就学人口の一段の減少等、教育機関を取り巻く社会環境が一層厳しい時代を迎えることから、創立90周年(2019年)と創立100周年(2029年)を見据え、中長期的な視点に立って、大学のあるべき姿=ビジョンを定め、ビジョン実現に向けて計画的に改革を推進すべく、「中長期計画(アクションプラン2030)」を策定した。具体的には、①教育の質保証、②キャンパス教育環境向上、③ブランド力向上、④大学運営向上の4つのプロジェクトを設定、プロジェクトごとに重点施策・事業を定めた。

又、平成25年4月より、環境情報学部を改組し、環境学部(環境創生学科、環境マネジメント学科)とメディア情報学部(社会メディア学科、情報システム学科)の2学部を開設した。なお、工学部生体医工学科を医用工学科に、知識工学部情報ネットワーク工学科を情報通信工学科に名称変更し、大学院においては、環境情報学研究科都市生活学専攻を開設した。

なお、グローバル化への組織的・継続的な対応を推進するため、大学事務局に「国際部」を新設した。又、世田谷キャンパスの再整備事業の一環として、平成22年度より建築していた新1号館の第2期工事が完了し、教育環境を更に充実させた。

東京都市大学附属中学校・高等学校及び同等々力中学校・高等学校では、国際化に対応するため、国際教育及び国際交流プログラムの充実に取り組んでいる。なお、両校は、平成25年度に中学校帰国生入試を初めて実施した。又、6年間の計画的・継続的な教育を更に推進するため、併設型中高一貫教育校への移行を決定した。

学校改革を進めている東京都市大学塩尻高等学校では、平成25年度をもって総合工学科の募集を停止し、普通科のみの募集体制とした。又、この再編に伴い教育環境の整備充実を図るため、新校舎・体育館の建設に着手した。

学校間連携事業については、東京都市大学での講義を受講する「単位認定制度」を全高等学校で実施した。又、学生サポーター制度を導入し、様々な幼稚園行事に多くの東京都市大学の学生が参加する等、幼大連携を推進した。

又、各学校においては、部活動・個人の文武両面に亘る全国レベルでの顕著な活躍により、都市大グループ全体の知名度を高めることに寄与した。特に塩尻高校女子バレーボール部は、全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー)において全国第3位という快挙を成し遂げている。

なお、東日本大震災により被災した受験生、在学生及び入学予定者については、検定料、入学金、学費などの減免措置により引き続き支援を行った。

その他、設置各学校においては、教育面等、各学校の重点目標に基づき各事業（8 教学部門（各学校）を参照）を実施した。

2 人事

(1) 東京都市大学の事務組織（国際部の新設）

東京都市大学における国際化及び国際的な活動の活性化を推進するため、大学事務組織に「国際部」を新たに設置し、グローバル人材育成に向けた改革を推進する体制を強化した。

(2) 職員の人材育成

平成25年度は、高等学校以下の教育職員に対しては、魅力ある学校づくりを更に推進するため、質の高い「教育力」の取得に向けた研修等を実践し、個々の教育スキルの向上に取り組んだ。

又、事務職員においては、職制上の体系的な研修プログラムを策定し、各資格毎に求められる役割・スキルの習得を主眼とする研修に取り組んだが、更に今年度は各資格における経験年数を考慮して研修を細分化するなど、「職員力」の向上に努めた。

3 広報

東京都市大学グループ全体及び各学校の認知向上、ブランド力向上を目指した広報活動の充実に努めた。

(1) 対外広報

- ① 東京都市大学ブランド形成の中核となる教育研究や産学連携等の実績を広く伝えるため、報道機関へのプレスリリースの配信や個別パブリシティ活動を積極的に行った。
- ② ソーシャルメディア（フェイスブック・ツイッターなど）を活用した情報発信や、コミュニケーション形成を推進した。又「東京都市大学アクションプラン 2030」のホームページを特設した。

(2) 内部広報

- ① 五島育英会誌「ゆうわ」・アニュアルレポートなど、共有意識の醸成に向けた媒体を活用することにより、情報共有及び相互理解の促進を図った。
- ② 創立者の功績を広く周知することを目的に、2013年6月、五島慶太翁生誕130年記念誌「熱誠」を刊行し、帰属意識・愛校心の涵養を図った。更に、小・中学校生に向けた教育読本「五島慶太伝」の発刊に向けて準備を進めている。

(3) 募集広報

各学校の入学志願者の獲得を主たる目的とした募集広報においては、都市大グループの総合力の訴求を継続して行い、ブランド戦略広報との相乗効果を意識した活動を継続して行った。

4 財務

財務活動において学校法人会計基準に基づく計算書に加えキャッシュフロー計算書、損益計算書を作成し、財務の安全性と事業運営の健全性を向上させるべく取り組んでいる。

損益計算書における経常的収入は、対予算 2 億 7000 万円減の 184 億 7900 万円となった。

一方支出は、対予算 2 億 1600 万円減の 171 億 9300 万円となり、経常収支差額は 12 億 8600 万円の収入超過となった。

経常収支差額に特別収支差額を加えた帰属収支差額は 38 億 500 万円の収入超過となった。

基本金組入額は、土地買収の延期などにより、予算を 20 億 6200 万円下回る 22 億 100 万円となった。

このことにより、消費収支差額は予算を 20 億 3400 万円上回る 16 億 400 万円の収入超過となった。

5 施設設備計画の実施状況

平成 25 年度に決定された事業計画の実施状況は、次のとおりである。

(1) 継続事業

- ・東京都市大学（世田谷キャンパス）新 1 号館新築工事（第 2 期）及び関連工事等

平成 22 年 1 月に着工した新 1 号館新築工事は第 2 期工事が完了し、平成 26 年 3 月を以って引渡しを受けた。

（竣工建物の概要）

新 1 号館

鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下 1 階付地上 4 階建

延床面積 14,951.25 m²（登記面積）

第 2 期工事：2,107,773 千円（総事業費：4,544,570 千円）

(2) 新規事業

- ・東京都市大学塩尻高等学校新校舎新築・既存校舎改修工事及び関連工事等

塩尻高校の教育改革推進の一環として、新校舎新築及び既存校舎改修工事について、平成 25 年 9 月 11 日に着工した。竣工は平成 27 年 3 月予定。

（総事業予算 2,000,000 千円）

(3) 改修工事・機器更新等

- ① 東京都市大学世田谷キャンパス
- ・建物改修工事
 - 5号館受変電設備更新工事 (計 23,415 千円)
 - 10号館空調設備更新工事 (計 38,955 千円)
- ② 東京都市大学横浜キャンパス
- ・建物改修工事
 - 4号館空調設備更新工事 (計 14,437 千円)
 - ・機器更新
 - A V設備更新 (計 36,309 千円)
- ③ 東京都市大学等々力キャンパス
- ・建物改修工事
 - 2号館空調設備更新工事 (計 18,270 千円)
- ④ 東京都市大学等々力中学校・高等学校
- ・建物改修工事
 - 給水本管設備更新工事 (計 27,300 千円)
- ⑤ 総合グラウンド
- ・建物改修工事
 - 人工芝張替工事 (計 66,500 千円)

(4) 土地の売買

① 買収土地

地番	実測面積 (㎡)	買収金額 (千円)	契約日
世田谷区玉堤 1 丁目 2369~2374-2	4,415.52	1,947,000,	H25.4.30

② 売却土地

地番	実測面積 (㎡)	売却金額 (千円)	契約日
世田谷区成城 1 丁目 118-8	4,810.73	2,491,710	H25.4.30

6 学校間連携

高大連携委員会を組織し、東京都市大学と附属 3 高校の連携強化を図るため、以下の事業を実施した。

- (1) 附属 3 高校からの附属進学制度
- (2) 東京都市大学と附属 3 高校における単位認定制度

- ・塩尻高校での同時双方向による「遠隔授業」実施
- (3) その他の学校間連携事業
 - ・部活動連携、出張講座、幼大連携等

7 収益事業部門

- (1) 五島育英会ビル
 - 賃貸ビルとして計画的に環境整備を実施し、併せて防災力の強化を行った。年度末には空室が解消した。
- (2) 東急自動車学校
 - スクールバスルートのエリア拡大等により増収を図るとともに、業務改善等の経費削減を行い、収益構造を改善した。

8 教学部門（設置学校の具体的取組み）

○ 東京都市大学

1 全学共通

(1) 中長期計画（アクションプラン2030）の策定

創立90周年（2019年）と創立100周年（2029年）という中長期的な視点から、4つのプロジェクト（①教育の質保証プロジェクト、②キャンパス教育環境向上プロジェクト、③ブランド力向上プロジェクト、④大学運営向上プロジェクト）を設定、プロジェクトごとに重点施策・事業を定めた。

(2) 学部学科改組、学科名称変更及び大学院研究科専攻の開設

平成25年4月より、環境情報学部を改組し、環境学部（環境創生学科、環境マネジメント学科）とメディア情報学部（社会メディア学科、情報システム学科）の2学部を開設した。なお、工学部生体医工学科を医用工学科に、知識工学部情報ネットワーク工学科を情報通信工学科に名称変更し、大学院においては、環境情報学研究科都市生活学専攻を開設した。

(3) インターネット出願の導入等

インターネット出願を導入し、検定料の減額等、受験生の利便性向上を図った。又、出張授業及び高校訪問を継続して実施した。

(4) 広報活動

中長期計画（アクションプラン2030）や新学部の情報発信に対応したホームページのリニューアル、東急電鉄各路線をはじめとした私鉄各社への電車内広告、横浜市営地下鉄での車両貸切広告等により、最新のトピックスをタイムリーに発信した。

又、英語版ホームページコンテンツのリニューアル、尾山台駅・等々力駅ホームに大学名称を追加する等の広報活動を展開した。

2 工学部

(1) カリキュラムの整備

カリキュラムポリシーとデュプロマポリシーを策定し、CAP制の実質化及びクォーター制の導入を前提とした各学科のカリキュラム改訂の条件を整えた。

(2) 学生満足度の向上

カリキュラムの改訂と連動させた教育内容の整備に取り組んだ。又、メンタル面での悩み等の問題に、学生部を中心として教務委員会、主任教授等会議等と連携し、FD活動のテーマとして取り上げるとともに、相談体制の整備・充実に取り組んだ。

3 知識工学部

(1) 就業力の向上、キャリア教育の定着と充実

2、3年次のキャリアデザイン教育を学科合同で実施し、企業が求めている人材像の情報を供与する体制の定着・強化を図る等、就業意欲向上を目指したキャリア教育カリキュラムの体系化を推進した。その他、就職担当教員連絡会のタイムリーな実施、学科間の就職指導連携、研究室指導教員の協力体制の強化等を図った結果、就職内定率及び就職進学決定率ともに良好な結果となった。

(2) 教育内容の向上、基礎教育の充実

教育改善システム（PDCA学部モデル）を策定し運用を開始するとともに、学生からの授業評価アンケートの刷新を行い、改善サイクルのために必要な情報の取得を可能とした。更に、教育の質保証を目指した全学CAP制導入に対応した制度の整備を行った。又、基礎教育の充実を目指し、「数学演習（1）、（2）」、「物理学演習」を開設、早期入学決定者を対象とした「放送大学eラーニング教材」を利用した入学前教育を実施した。

4 環境情報学部

(1) 就職率向上への取り組み

学内企業研究会を12月～1月に合計4回実施した結果、前年度を大きく上回る参加率となった。

(2) 留年率の低下と卒業研究着手率の向上

2年次生に対してオリエンテーション期間中にクラス担任ガイダンスを実施し「指導報告書」を作成した。又、教授会において、事例研究・卒業研究配属学生に対する「成績通知書」を用いた履修指導の徹底を要請し、その結果、留年率が低下し、卒業研究着手率が向上する等、取り組みの効果が見られた。

5 環境学部

(1) 入試広報の強化

高校訪問件数を前年度比 2.5 倍に増加、キャンパス独自ホームページで短期間での情報発信による学部トピックス件数の増加、「高校生環境活動グループ実践賞」の創設等の取り組みを行い、新学部の認知向上を図った。

(2) グローバル人材の育成

新学部のスタートにあたり、全教員に英語による授業の展開を依頼、今後を見据えた情報の共有化に努めた。

又、中国及びネパールにおける海外研修を見直し、参加型及びフィールドワーク形式での実施とし、学生同士の活発な交流を促した。

6 メディア情報学部

(1) 入試広報の強化

高校訪問・出張授業数を大幅に増加、キャンパス独自ホームページで短期間での情報発信による学部トピックス件数の増加、オープンキャンパスに特化したサイトの作成等の取り組みを行い、新学部の認知向上を図った。

(2) 教育内容・設備の充実

CAP 制の導入、科目開講時期の再検討、休講時の補講措置の徹底、グローバル人材育成を目指した新たなプログラム導入の検討等を行った。

又、設備面では、特徴ある演習室の本格稼働、3Dプリンタ3台の新規導入、メディアホールへの機器の集中配置、データ解析ソフトウェア配置教室の適正化・拡充等により、学生の利便性向上のための取り組みを行った。

7 都市生活学部

(1) 実践力のある街づくり人材育成のための教育・研究活動

プロジェクト能力涵養のための教育体制を確立、加えて教員の指導力向上のためのFD会議を前・後期終了後各1回実施し、問題点の共有と改善を図った。又、プロジェクト演習の過程では、街づくりを実践する外部の専門家による講評や街づくりワークショップへの参加等により、実践力の向上を図った。

(2) 高い就職率の維持と適切な就職先確保

「キャリアデザイン」の授業内容改善、キャリアセンターとの連携を密にした指導の徹底、企業説明会・インターンシップ参加者数増加への取り組み等を行い、高い就職率を維持、内定先企業水準の向上を果たした。

6 人間科学部

(1) 主体的な学びと人間力向上への教育改革

ボランティア活動、海外研修による異文化体験、学術講演会の開催、各種学術会議への参加等、体験を通して、人間力の向上及び国際感覚の育成を図った。

(2) 地域貢献・連携の強化

世田谷区と連携し、区内の福祉関連学科のある大学や福祉施設との連携を深め、福祉関連プロジェクト研究の遂行を共同企画した。又、横浜市都筑区と締結した連携・協力に関する協定書に基づき、認可保育園でのインターンシップ事業を実施、3名の就職実績となった。

更に、東京都市大学二子幼稚園の各種行事等にボランティアとして参加する等、幼大連携を強化した。

7 共通教育部

(1) 全学的な教養教育の実施に向けた制度整備

工学部、知識工学部、都市生活学部で教養科目の共通化を図った。他の学部についても検討を進め、平成26年度より、ほぼ全ての科目が全学統一カリキュラムとして、全キャンパス（全学部）で履修可能とし、環境・制度整備を達成した。

(2) 大学院基礎・教養科目の充実に向けた体制整備

大学院基礎科目のカリキュラム検討の土台となる「共通教育部大学院共通教育委員会」を設置した。今後、本委員会をベースに、大学院基礎教育・教養科目の体系化、教育の質向上といった課題に組織的に取り組む。

○ 東京都市大学附属中学校・高等学校

1 教育設計・授業改善・学力向上に関する分野

(1) 校内組織の整備

学校経営会議を定例で週1回、臨時会議を含め年間計40回開催、重要事項を検討・決定し、職員連絡会議にて周知を図った。

(2) 帰国生入試の導入

教育プログラムのグローバル化の第1歩として、帰国生入試を導入した。

(3) 新コース制（Ⅰ類・Ⅱ類）の充実

平成25年度新入生から新コース制（Ⅰ類・Ⅱ類）を導入、中学1年ではⅡ類の補修・講習の応用講座必修等の新たな取り組みを行ったが、Ⅱ類だけでなくⅠ類についても学習への意欲的な取り組みなどの効果が現れている。

(4) 外部模試・校内実力試験の再検討及び学力向上の推進

各定期試験終了後に教科会議を設定し、問題や結果の分析を行い指導の改善を図った。又、外部模試の結果分析については、外部講師による分析報告会を実施するとともに、

各教科で分析を行い、指導の改善を図った。

(5) 補習・講習・学習合宿の改善・推進

補習・講習に関して各教科で総括を実施、次年度実施計画の策定資料としてまとめた。

夏の学習合宿は高校3年（88名参加）を新たに加え、高校1年・2年（68名参加）とともに内容を充実させた。

(6) 自習室の活動促進

自習室の場所を図書館から大会議室に変更、チューター2名とコーディネーター1名体制で、週4日20時まで開室した。

(7) 英検・漢検の上級取得率の向上

英検は中学3年生で3級以上98.3%、準2級以上55.6%を達成。漢検は高校1年生で準2級に98名（42.2%）が合格し、いずれも目標を達成した。

(8) 授業力の向上

授業アンケートの結果を受けた結果分析会・教科研修、公開授業等の実施、予備校実施の授業力向上セミナー等への参加、夏期教育研究会での検討等により、授業力向上を図った。

2 進路指導・キャリア教育に関する分野

(1) 難関大学現役合格者数増加

難関大学の現役合格者数は過去最高数値を記録し目標値を概ね上回った。

(2) 高校1年中期修了論文、中学3年キャリアスタディ

高校1年の中期修論は、4月にプレ集会を開催する等改善を図った。中学3年のキャリアスタディは、プログラムを見直し改善を図った。

3 生徒指導・部活動に関する分野

(1) 生徒の自治活動の更なる推進

活動の拠点として生徒会室を新設、高校生徒会では、組織改編を行う等自治意識の向上が見られた。

(2) 行動指針に基づく生徒の規範意識の高揚

中学1年に対して入学直後に携帯電話・メールに関する講習会等を実施し、規範意識を高めた。

(3) クラブ活動を通じた人間性の育成

部活動においては全国大会出場（9件）等実績をあげた。又、世界大会3位（ロボカップジュニア）等、個人活動での実績も顕著であった。

4 学校間連携・研究・研修活動に関する分野

(1) 学校間連携

- ア 大学・付属3高校の教員による学習・進路に関する情報交換を中心とした連携。
- イ 高校硬式野球部、中高生物研究部等が等々力中高と交流。
- ウ 高校サッカー部、中高バスケットボール部が塩尻高校と交流。
- エ 前年度に導入した付属小学校からの「併願制」入試について、初年度の結果を検証し、基準点の見直しを実施。

(2) 教員研修制度の充実

- ア 長期休暇中の校内研修会。
- イ 外部講師による授業評価アンケート結果に基づく教科指導研修。
- ウ スクールカウンセラーと連携した発達障害に関する研修。

5 入試（募集）・広報活動に関する分野

(1) 帰国生入試導入に伴う広報

帰国生入試導入にあたり、学校説明会だけでなく、国内での外部説明会、海外（欧州、北米、東南アジア）での説明会及び教育施設への訪問を実施する等の広報（募集）活動を展開した（志願者数146名、入学者数19名）。

(2) 中学受験者数の維持と偏差値の向上

総志願者数は5,246名（前年度比9%増）で4年連続都内最高、本校史上過去最高となった。首都圏全体で受験者数が減少する中、受験者数は2,756名（昨年度比21%増）で5年連続の上昇となった。

○ 東京都市大学等々力中学校・高等学校

1 教育設計（管理）・授業改善・学力向上に関する分野

(1) 生徒成績記録シートの作成

全教員が新しいシステムに習熟し大いに活用、新たな生徒成績表を作成。

(2) 新評価システムの提案

評定に関して検討し原案を作成、平成26年度より実施する体制を整えた。

(3) 行事等の対外的な取り組み

読書甲子園、読書コンペの他、ビブリオバトル、オーサービジットを実施。又、中学2年の社会では、アフリカについて共同研究を行い、チーム毎のプレゼンテーションを保護者を招待して実施。

2 進路指導・キャリア教育に関する分野

(1) 自学自習力の育成

授業内容の理解度を計り、未達成の領域があれば「その日のうちに解決」をモットーとして作成した「システム4A」によるボトムアップを図りながら、部や学年単位でT

Qノートと自主室の利用を高める運動を展開した。

(2) 新キャリア教育ビジョン（6年分）の完成

ノブレス・オブリージュの教育という視点のもと、新キャリア教育ビジョンの概略が完成、実施段階で細部を整えることとした。

(3) 保護者ネットワークを活用したキャリア教育

「等々力キャリアフェア」の保護者講師数を前年度5名から21名に増員した。

3 生徒指導・部活動に関する分野

(1) 生徒会・部活動・委員会の活性化

自主性を育てる具体的な指導の実践として、挨拶運動、給食委員会の発表・WFP（国連世界食糧計画）活動、図書委員会の読書コンペ等を実施。

(2) ボランティア活動の実践

新しい取り組みとしてWFP（国連世界食糧計画）との連携、高齢者福祉施設から藍桐祭へ招待を行った。

(3) 花育活動の展開

ストロベリーガーデンと前庭の整備が完成した。

4 研究・研修活動に関する分野

・各種マニュアルの完成

「震災マニュアル」を完成。その他、火災・風水害・防犯・感染症の各マニュアルの検討を行い、目途を付けた。

5 入試（募集）・広報活動に関する分野

(1) 競合校対策の徹底、志願者（受験者）の確保、偏差値の向上

志願者（受験者）数は、目標としていた数値を下回ったが、偏差値は、ほぼ目標レベルに達した。

(2) サテライト説明会・募集広報誌の内容や発行時期等の再検討

広報媒体の変更、塾周りの強化等により、各地区における説明会参加者数は昨年度より増加した。又、「等々カスクールライフ」を発行し、学びと楽しさの両面の広報を展開した。

(3) 帰国入試導入に伴う広報

「Todoroki News Letter」の内容を充実させ適宜発行した。

○ 東京都市大学塩尻高等学校

1 教育設計・授業改善・学力向上に関する分野

(1) 学科・コースの再編

学校改革再編計画に基づき、平成26年度からの新類型・新コース設置、新カリキュラムを策定した。

(2) 新シラバスの作成

科目の概要・目標、評価の観点・方法、学習の方法と流れ、教科書進度表、定期考査・模試計画を詳細に記載した新シラバスを作成。教科会や研修会で授業展開と指導方法の研究を行い、授業改善を実施した。

(3) 新教務規定の作成等

「規程」、「細則」、「内規」、「申し合わせ事項」に分類した新教務規定を作成。新指導要録に対応した書式の電子データ化を行い、電子データ・紙ベースの両方に対応可能とした。

(4) 学力（進学実績）向上

習熟度別授業、計画的な宿題による学習量の増加、センター試験対策講座、予備校との連携等により学力向上を図った。

(5) 国際教育プロジェクト

イングリッシュシャワー（22回）の実施、英語検定試験の受験（18名受験のうち1名が1級に合格）、又、次年度に向け国際体験研修施設の視察を実施する等、国際力向上に取り組んだ。

2 進路指導・キャリア教育に関する分野

(1) 学校行事の見直し

4月の遠足を研修旅行と位置づけ、企業見学や施設見学を実施。又、修学旅行も行き先を関西方面に変更し、キャリア教育に重点を置き、京都大学等での大学研修や企業研修を実施した。

(2) 附属3校による都市大見学会・講演会をキャリア教育の一環として実施した。

(3) 進路意識向上の取り組み

担任による生徒との月1回の面談を実施、特進Zコース在籍者及び総合進学コース・総合工学科の成績上位5名については、学力向上部と連携し、学習カウンセリングを実施した。

(4) 就職内定率100%

就職支援員による支援、企業訪問・見学、SPI2講座の開講、インターンシップ等の取り組みにより、本年度も内定率100%の実績となった。

3 生徒指導・部活動に関する分野

(1) 生徒会活動の活性化

生徒会が中心となって、新たな学校行事（体育祭、文化系クラブ発表会等）を企画・

運営、生徒の達成感や高い満足感を得ることができた。

(2) 部活動加入率の向上と活躍

加入率は全体で70%、1年生では75%と例年より上昇した。なお、女子バレーボール部の全国大会3位をはじめ、サッカー部（県大会準優勝）、野球部（夏の県大会ベスト8）等顕著な実績を挙げた。

(3) ボランティア活動

塩尻市のクリーンパートナー制度に加盟、清掃活動や河川に花を植える活動を定期的に行い、地域や市の関係者、企業の方々との交流を深めることができた。

4 学校間等連携・研究・研修活動に関する分野

(1) 都市大との連携

ア 双方向通信システムを利用し環境学部と遠隔授業を実施、受講者6名中5名が単位認定された。

イ 教授を招いて塩尻市民対象の市民公開講座を実施。

ウ 都市大見学バスツアーを実施。

(2) 附属中高・等々力中高との連携

生徒間交流として、3校野球部による練習試合を実施。

(3) 職員研修の充実

各教員が最低月1回の研究授業を実施、授業力向上に努めた。又、最低月2回の研究授業参観により、授業改善を促進した。

(4) 多様な評価制度の導入

学校評議員会における活発な意見交換、予備校による授業アンケート等を実施した。

5 入試（募集）・広報活動に関する分野

(1) 志願者数の増加とレベル向上

併願合格者アンケートを実施し、本学の強み・弱みを分析した。又、志願者数は1,249名（前年度比249名増）となり、得点能力（学力レベル）も向上した。

(2) 地域への発信

市民公開講座を塩尻市のイベントに絡めて開催、学校改革等の情報発信を推進した。

(3) イベントの充実と中学校訪問回数の増加

学校説明会及び中学校訪問回数を増加させ、体験学習会、募集説明会、進路講話等、イベント内容を充実させた。その結果、参加者数は前年度比149名増となった。

(4) 入試問題の刷新

入試問題作成委員会を設置、各入試の検討を行い出題レベルの向上を図るとともに、コンセプトを明確にした模擬問題集を作成・配付し、学校説明会で解説を行った。

○ 東京都市大学附属小学校

1 教育設計・授業改善・学力向上に関する分野

(1) 2学期制の実施

ダイナミックなラーニング月（学習月）を前期・後期に設け、学校行事を効率的に配置してその効果を検証した。又、2学期制における授業時間の効果的な活用を考え、授業や児童活動の時間を効率的、且つ実質的に展開した。

(2) 学校行事・体験学習を通じた「生きる力」の育成

宿泊行事では、各学年の指導目標を明確にし、楽しく、自主性が培えるような体験を重視、5年生の臨海学校では、三國清三シェフによる野外体験学習を展開した。

(3) 理数に強い学校づくり

理科好きな児童を増やすための理科授業の充実、都市大主催の科学体験教室への参加呼びかけ等、科学する力を養う取り組みを行った。

(4) 校務システムの確立

校務システムによる「成長のしおり」、「指導要録」の効率化を図り、児童の評価をより分かりやすいものにした。

(5) 学力の向上と自学力の育成

ア 学力テストによる指導の検証と児童学力評価

イ 全科目学習カリキュラムの検証

ウ 算数習熟度別学習による学力向上

エ 3年生からの速読法の習得、図書館活動の活発化、6年生受験期における特訓指導等による国語読解力の育成

オ 体験学習、教育機器を利用した調べ学習の積極的・継続的な実施による自学力の育成

2 生徒指導・部活動に関する分野

(1) 生きる力を育むための児童活動の推進

学校行事に主体的に関わりを持つべく指導を徹底、児童集会は、全面的に児童発案のもと自主的にできるよう指導した。又、異学年交流を活発化した。

(2) 心身を養うための食育と安全の推進

「食育」を体験的な教育と併せて展開、三國プロジェクトチームを作り、三國スタッフとの連携を密にして実行した。又、成城警察の協力を得てセーフティー教室、交通安全指導を実施、安全教育の充実を図った。その他、防災マニュアルの完成、防災訓練・防犯訓練を実施した。

3 研究・研修活動に関する分野

(1) 中学受験に精通した教員の養成

理科実験分野の系統的な指導の研究を強化した。

(2) メディア教育の充実

教育機器の効果的活用法を探る研究を継続して実施、低学年メディア教育の指導をメディア教室の機器を使用し展開した。又、図書室兼メディア教室の充実を図るためのプロジェクトチームを設置し、有効活用できるように展開した。

(3) 教員の資質向上の取り組み

低・中・高の学年単位で各目標テーマを定め、授業研究、外部研修、教員間公開授業の参観等を行い、資質向上を図った。

4 入試（募集）・広報活動に関する分野

(1) 志願者数の増加

校内の学校説明会・公開授業の実施、校外の説明会への積極的な参加により、目標とした志願者数を達成した。

(2) 中学進学部の創設

中学進学実績を高めるため新たに中学進学部を創設、4教科（理科、国語、算数、社会）の高学年学力アップを図った。その他、算数一行問題のテキスト作成、メディア教室に中学受験のための情報コーナー設置、高学年アドバイザーとしてフリーの教員が対応する等の取り組みを実施した。

○ 東京都市大学二子幼稚園

1 教育活動・保育内容の充実

(1) 季節の野菜栽培

なす・きゅうり・ピーマンなどの野菜を、当番制により園児が担任と共に水やり等を行い、収穫までの生長過程を観察することで興味関心を深め、収穫の喜びを感じることができる取り組みを行った。又、嫌いだった野菜を初めて口にするなど、食育につながる活動とすることができた。その他、園外農園活動にも注力している。

(2) 多文化に触れる取り組み

ア 英語教育について、子どもにとって望ましいあり方を検討し、教員が共通理解したうえで、園としての目標や学年のねらいを定めた。

イ 教材として、絵本の設置や音楽CDの活用等、教育環境を通して主体的に多文化に触れることにより、興味・関心を深めるための工夫を行った。

ウ 国旗やアルファベットの絵本を用いることで、言葉にとどまらず、国旗やその国の

文化に触れる経験や、音楽CDを活用し身体表現を楽しむ中で、多文化に触れられるよう工夫した。

エ 年長組においては、海外より編入してきた子どもたちとの日々の関わりや、その国の文化を紹介する場面を持つことで、多文化を感じ、受け止めることに繋げた。

2 連携事業

各種行事に、都市大人間科学部児童学科の学生にボランティアとして参加してもらう等、幼大連携の取り組みを強化した。

以 上

Ⅲ 資 料

1 設置する学校の内容

(平成26年5月1日現在)

フリガナ 学校名 (所在地)	学部・学科等名	開設 年度	入学定 員(a)	志願者 数	合格者 数	入学者 数(b)	(b) — (a)	編入学 定員	編入学 者数	収容定 員(c)	現員(d)	(d) — (c)	備 考
トウキョウトシダイガク 東京都市大学	大学院	年度	人	人	人	人		人	人	人	人		平成21年4月より校名変更(旧 武蔵工業大学)
工学部・知識工学部・ 工学研究科 (東京都世田谷区玉堤)	工学研究科博士後期課程	S43	36	4	4	3	0.08			108	18	0.17	※1 平成25年4月に入学定員を次のとおり変更 工学研究科修士課程217名→261名 環境情報学研究科修士課程20名→26名
	工学研究科修士課程 ※1	S41	261	334	281	263	1.01			522	532	1.02	
	環境情報学研究科博士後期課程	H17	2	1	1	1	0.50			6	3	0.50	
	環境情報学研究科修士課程 ※1	H13	26	9	9	9	0.35			52	38	0.73	
	大学院 計		325	348	295	276	0.85			688	591	0.86	
環境学部・メディア情報学部・ 〈環境情報学部〉 環境情報学研究科(環境情報学専攻) (神奈川県横浜市都筑区牛久保西)	工学部		630	9,768	2,834	732	1.16			2,440	3,071	1.26	※2 平成24年4月に入学定員を次のとおり変更 工学部 生体医工学科40名→45名 電気電子工学科85名→95名 都市工学科75名→80名
	機械工学科	S24	105	2,043	524	110	1.05			420	519	1.24	
	機械システム工学科	H9	90	1,288	402	103	1.14			360	435	1.21	
	原子力安全工学科	H20	30	265	94	34	1.13			120	165	1.38	
	医用工学科 ※2 ※3 ※6	H19	55	515	224	64	1.16			185	228	1.23	
	電気電子工学科 ※2	S24	95	1,505	451	124	1.31			370	472	1.28	環境情報学部編入学定員
都市生活学部・人間科学部・ 環境情報学研究科(都市生活学専攻) (東京都世田谷区等々力)	エネルギー化学科 ※6	H9	70	869	365	93	1.33			265	330	1.25	環境情報学科2年次8名→0名、3年次8名→0名
	建築学科	S24	100	2,302	432	106	1.06			400	525	1.31	情報メディア学科2年次10名→0名、3年次10名→0名
	都市工学科 ※2 ※6	S32	85	981	342	98	1.15			320	397	1.24	※3 平成25年4月に学科名称及び入学定員を次のとおり変更 工学部 生体医工学科→医用工学科に名称変更 知識工学部 情報ネットワーク工学科→情報通信工学科に名称変更
	知識工学部	H19	255	3,661	1,080	301	1.18			950	1,238	1.30	
	情報科学科 ※3	H19	95	1,459	400	108	1.14			360	448	1.24	
	情報通信工学科 ※3 ※6	H19	60	769	242	73	1.22			225	284	1.26	情報科学科85名→95名
	経営システム工学科 ※3 ※6	H19	75	983	301	88	1.17			265	364	1.37	経営システム工学科60名→70名
	自然科学科	H21	25	450	137	32	1.28			100	142	1.42	※4 平成25年4月に環境学部(190名)、メディア情報学部(180名)を開設
	環境学部 ※4	H25	160	1,544	542	169	1.06			350	427	1.22	環境情報学部の学生募集停止
	環境創生学科 ※4	H25	90	800	292	95	1.06			180	208	1.16	※5 平成21年4月に都市生活学部(150名)、人間科学部(100名)を開設
	環境マネジメント学科 ※4 ※6	H25	70	744	250	74	1.06			170	219	1.29	※6 平成26年4月に入学定員を次のとおり変更
	メディア情報学部 ※4	H25	180	2,045	572	206	1.14			360	450	1.25	工学部 生体医工学科45名→55名
	社会メディア学科 ※4	H25	90	777	301	101	1.12			180	213	1.18	エネルギー化学科65名→70名
	情報システム学科 ※4	H25	90	1,268	271	105	1.17			180	237	1.32	都市工学科80名→85名
	環境情報学部 ※4	H9	-	-	-	-	-			780	984	1.26	知識工学部 情報通信工学科55名→60名
	環境情報学科 ※4	H9	-	-	-	-	-	※2		380	471	1.24	経営システム工学科70名→75名
	情報メディア学科 ※4	H14	-	-	-	-	-	※2		400	513	1.28	環境学部 環境マネジメント学科100名→70名
	都市生活学部	H21	150	1,012	441	172	1.15			600	705	1.18	
	都市生活学科 ※5	H21	150	1,012	441	172	1.15			600	705	1.18	
	人間科学部	H21	100	490	226	101	1.01			400	438	1.10	
	児童学科 ※5	H21	100	490	226	101	1.01			400	438	1.10	
	大学 計		1,475	18,520	5,695	1,681	1.14			5,880	7,313	1.24	

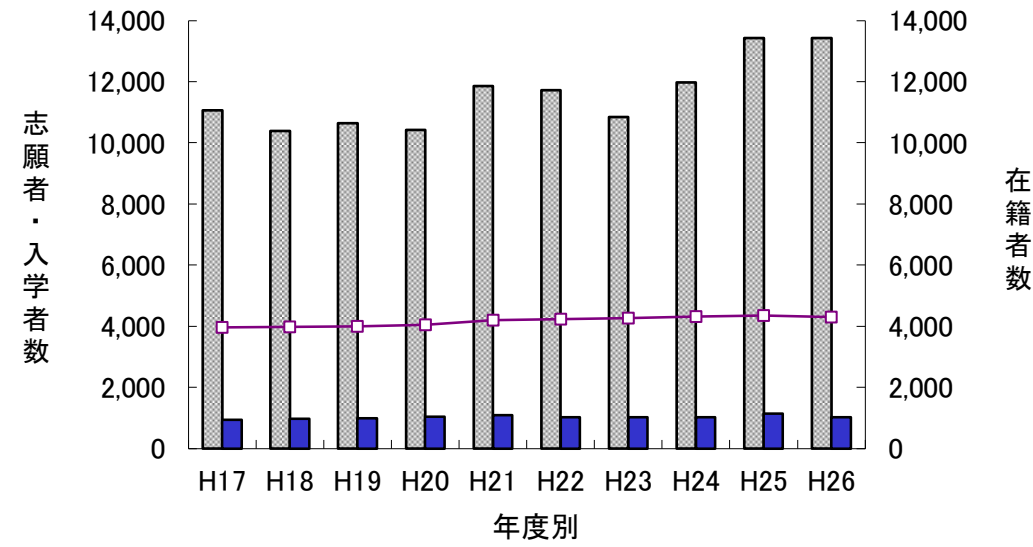
(平成26年5月1日現在)

フリガナ 学校名 (所在地)	学部・学科等名	開設 年度	入学定 員(a)	志願者 数	合格者 数	入学者 数(b)	(b) — (a)	編入学 定員	編入学 者数	収容定 員(c)	現員(d)	(d) — (c)	備 考
トウキョウトシダイガクフゾクコウトウガクコウ 東京都市大学附属高等学校 (東京都世田谷区成城)	全日制課程 ※7	S26	260	-	-	231	0.89			780	706	0.91	平成21年4月より校名変更(旧 武蔵工業大学附属高等学校) ※7 平成22年4月より完全中高一貫教育のため高等学校入学者は内部進学のみ
トウキョウトシダイガクト`ロキコウトウガクコウ 東京都市大学等々力高等学校 (東京都世田谷区等々力)	全日制課程 ※8	S23	300	283	226	130	0.43			900	515	0.57	平成21年4月より校名変更(旧 東横学園高等学校) ※8 中学からの内部進学含む
トウキョウトシダイガクシオジリコウトウガクコウ 東京都市大学塩尻高等学校 (長野県塩尻市広丘高出)	全日制課程	S36	340	1,249	1,021	282	0.83			1,020	793	0.78	平成21年4月より校名変更(旧 武蔵工業大学第二高等学校)
トウキョウトシダイガクフゾクチュウガクコウ 東京都市大学附属中学校 (東京都世田谷区成城)		S22	240	5,246	1,095	252	1.05			720	795	1.10	平成21年4月より校名変更(旧 武蔵工業大学附属中学校)
トウキョウトシダイガクト`ロキチュウガクコウ 東京都市大学等々力中学校 (東京都世田谷区等々力)		S22	200	2,567	540	163	0.82			600	474	0.79	平成21年4月より校名変更(旧 東横学園中学校)
トウキョウトシダイガクフゾクシヨウガクコウ 東京都市大学附属小学校 (東京都世田谷区成城)		S24	80	400	147	80	1.00			480	477	0.99	平成21年4月より校名変更(旧 東横学園小学校)
トウキョウトシダイガクフタコヨウチエン 東京都市大学二子幼稚園 (東京都世田谷区玉川)		S30	※9	3才児 106	3才児 86	3才児 69				280	209	0.75	平成21年4月より校名変更(旧 東横学園二子幼稚園) ※9 入学定員 3才児70名、4才児105名 (3才児のみ募集) (4才児へ進級70)

注) 定員変更等の記入に当たっては、この表に影響のある年度までとする

2 入学志願者・入学者・在籍者数推移図表

東京都市大学工学部・知識工学部(世田谷キャンパス)

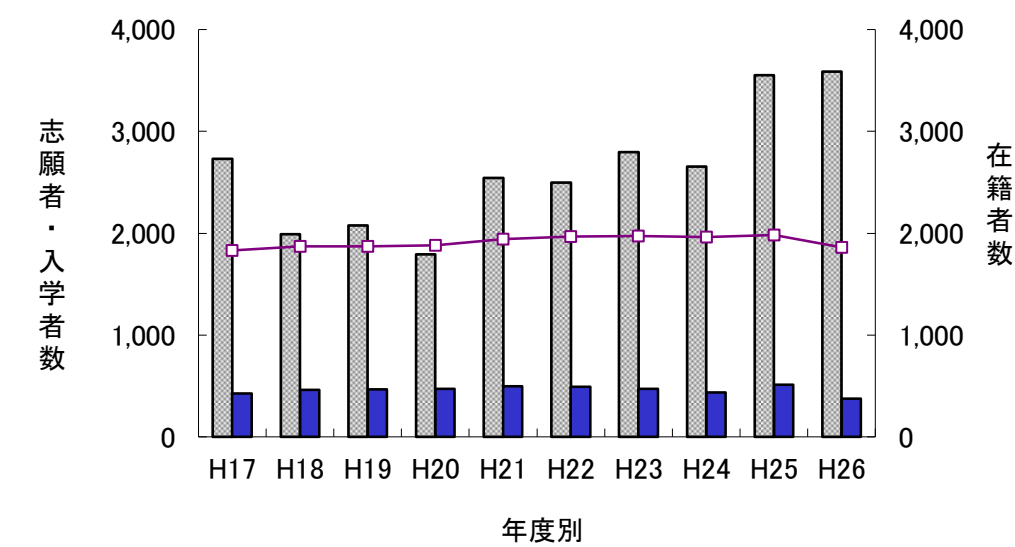


東京都市大学工学部・知識工学部

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	11,065	10,390	10,636	10,418	11,853	11,718	10,837	11,968	13,432	13,429
入学者数	940	980	989	1,043	1,086	1,031	1,021	1,025	1,136	1,033
在籍者数	3,966	3,988	4,002	4,046	4,192	4,239	4,272	4,310	4,359	4,309

注:H17～H18工学部、H19～H26工学部・知識工学部の合計

東京都市大学環境学部・メディア情報学部(・環境情報学部)(横浜キャンパス)

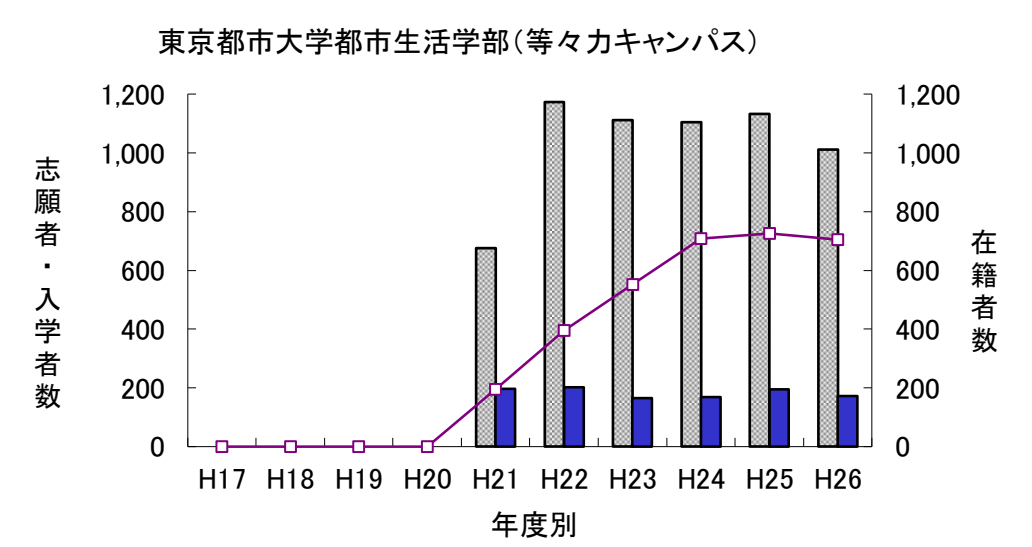


東京都市大学環境学部・メディア情報学部(・環境情報学部)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	2,731	1,991	2,077	1,791	2,543	2,497	2,795	2,653	3,550	3,589
入学者数	425	462	467	473	496	490	473	438	511	375
在籍者数	1,831	1,870	1,871	1,882	1,944	1,970	1,975	1,962	1,981	1,861

注:H17～H24環境情報学部、H25～環境学部・メディア情報学部の合計

東京都市大学都市生活学部(等々力キャンパス)



東京都市大学都市生活学部

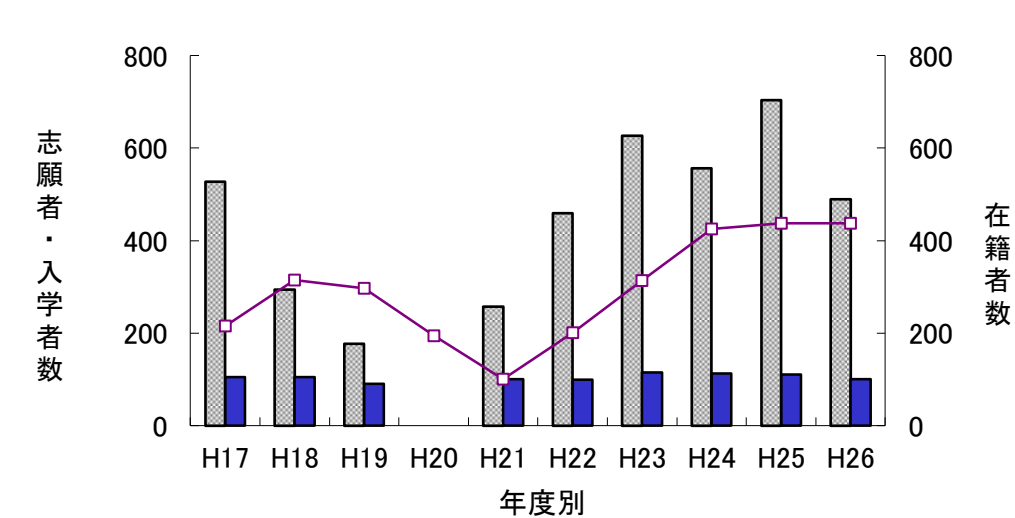
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	-	-	-	-	675	1,173	1,111	1,104	1,132	1,012
入学者数	-	-	-	-	196	202	164	168	194	172
在籍者数	-	-	-	-	195	395	551	708	725	705

《H22年～の内訳》

	学部	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	工	8,228	7,699	8,635	9,635	9,768
	知識工	3,490	3,138	3,333	3,797	3,661
	環境	-	-	-	1,286	1,544
	メディア情報	-	-	-	2,264	2,045
入学者数	工	739	747	752	812	732
	知識工	292	274	273	324	301
	環境	-	-	-	261	169
	メディア情報	-	-	-	250	206
在籍者数	工	3,096	3,096	3,114	3,117	3,071
	知識工	1,143	1,176	1,196	1,242	1,238
	環境	-	-	-	974	898
	メディア情報	-	-	-	1,007	963

注意:環境学部・メディア情報学部の在籍者数は、環境情報学部各学科の在籍者含む

東京都市大学人間科学部(等々力キャンパス)

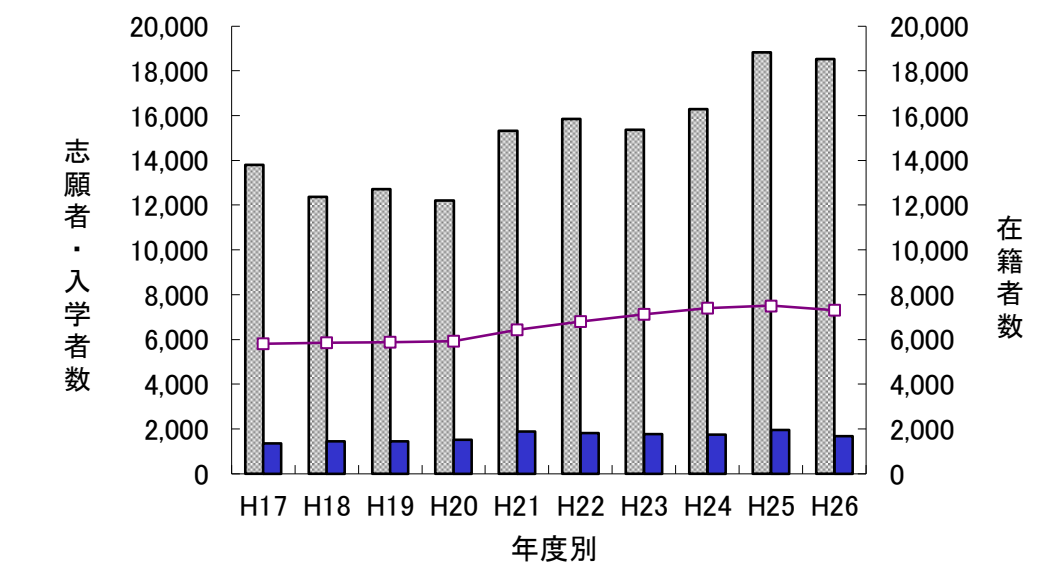


東京都市大学人間科学部

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	528	294	177	-	257	460	627	557	704	490
入学者数	105	105	91	-	101	100	115	113	111	101
在籍者数	216	315	297	195	101	201	314	425	438	438

注:H17～H20 東横学園女子短期大学保育学科、H21～東京都市大学人間科学部

東京都市大学(学部)合計



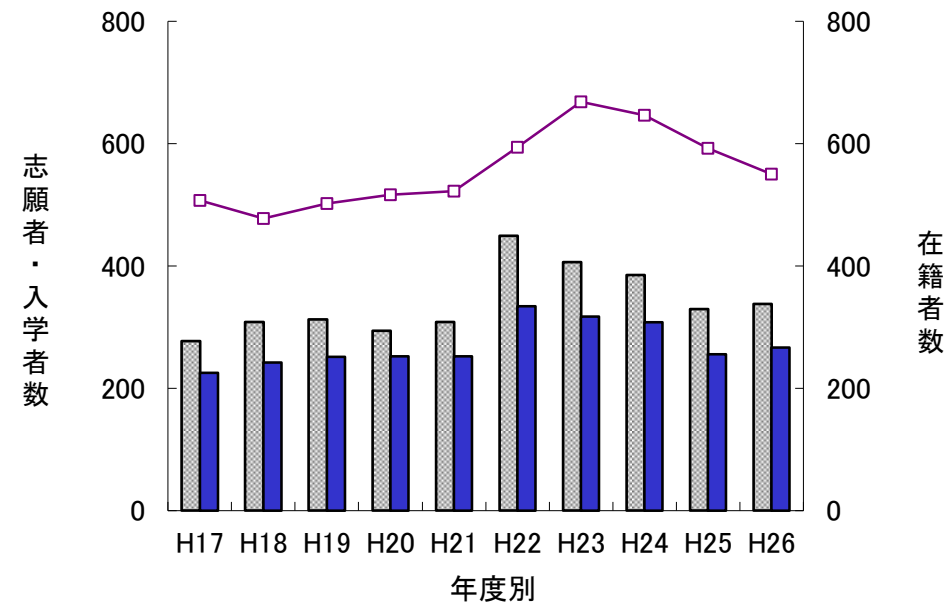
東京都市大学(学部)合計

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	13,796	12,381	12,713	12,209	15,328	15,848	15,370	16,282	18,818	18,520
入学者数	1,365	1,442	1,456	1,516	1,879	1,823	1,773	1,744	1,952	1,681
在籍者数	5,797	5,858	5,873	5,928	6,432	6,805	7,112	7,405	7,503	7,313

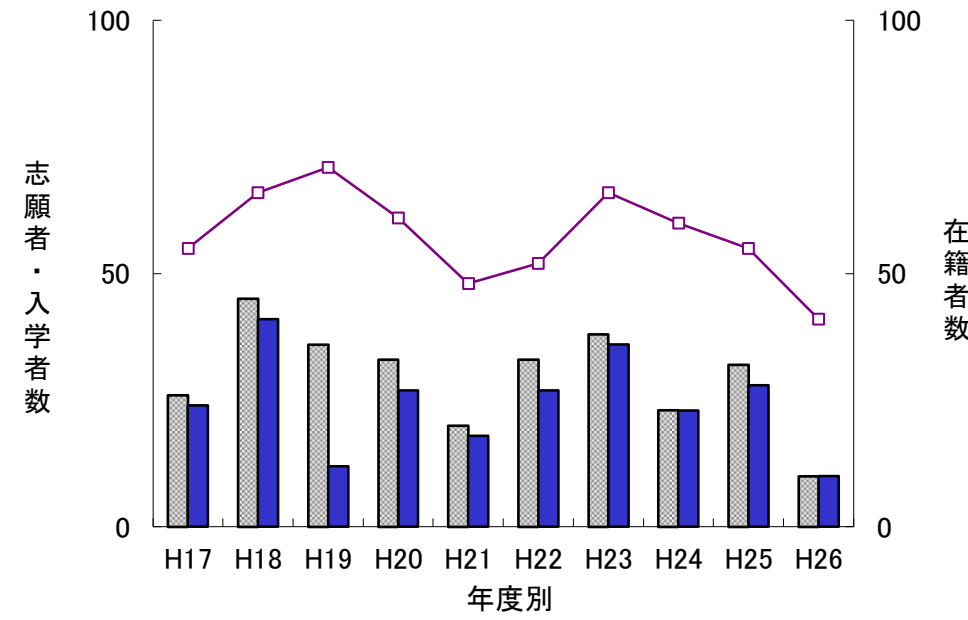
注:H17～H20 武蔵工業大学、H21～東京都市大学の学部合計(旧保育学科を除く)

志願者数 入学者数 在籍者数

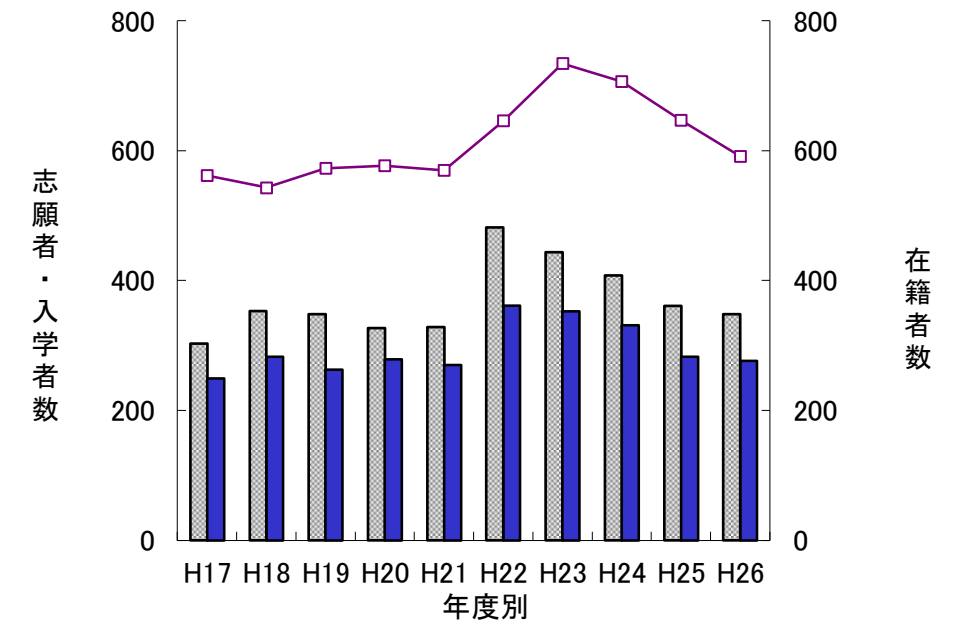
東京都市大学大学院 工学研究科



東京都市大学大学院 環境情報研究科



東京都市大学(大学院)合計



東京都市大学大学院 工学研究科

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	277	308	312	294	308	449	406	385	329	338
入学者数	225	242	251	252	252	334	317	308	255	266
在籍者数	507	477	502	516	522	594	668	646	592	550

東京都市大学大学院 環境情報研究科

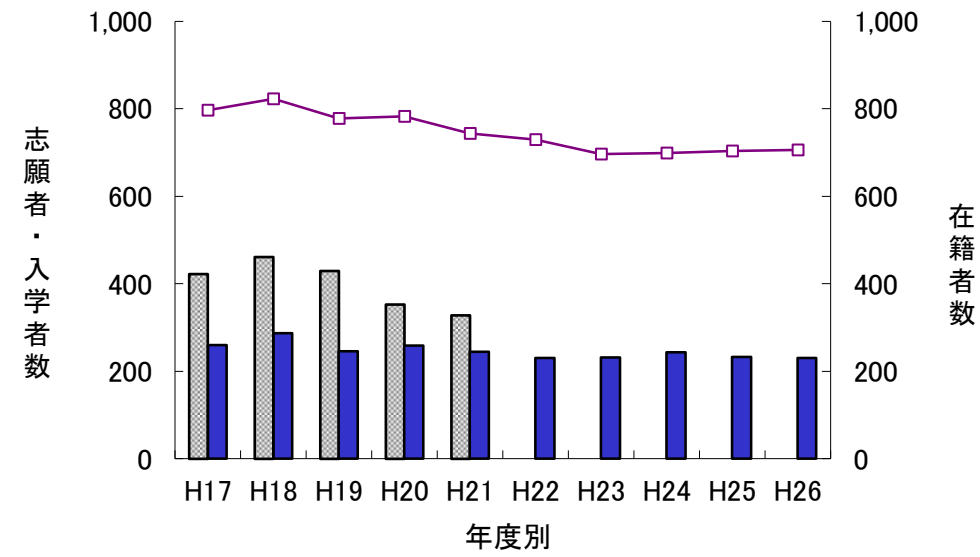
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	26	45	36	33	20	33	38	23	32	10
入学者数	24	41	12	27	18	27	36	23	28	10
在籍者数	55	66	71	61	48	52	66	60	55	41

H25～環境情報学専攻・都市生活学専攻の合計

東京都市大学(大学院)合計

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	303	353	348	327	328	482	444	408	361	348
入学者数	249	283	263	279	270	361	353	331	283	276
在籍者数	562	543	573	577	570	646	734	706	647	591

東京都市大学付属高等学校

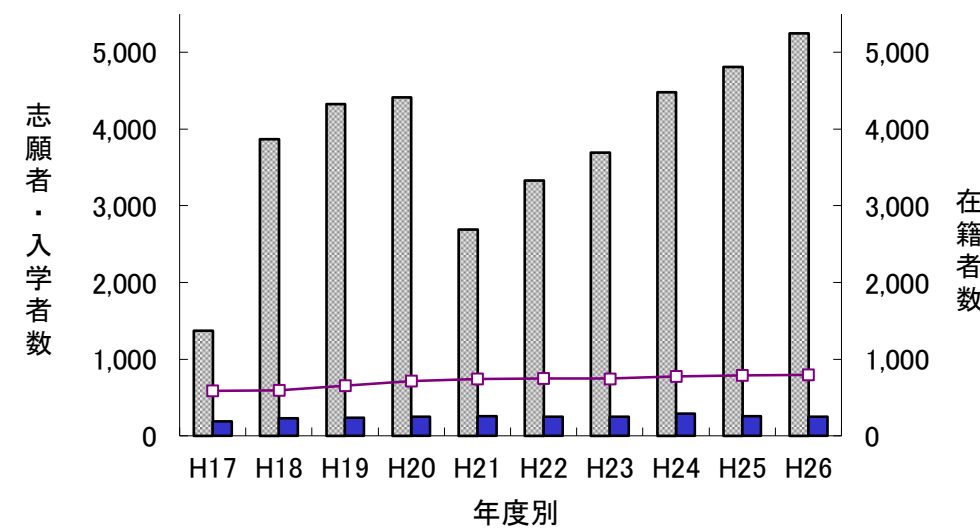


東京都市大学付属高等学校

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	422	461	429	352	328	-	-	-	-	-
入学者数	260	287	246	259	245	231	232	244	233	231
在籍者数	797	823	778	783	744	729	696	699	703	706

注: 内部進学含む。H22～中高6カ年一貫教育のため高校からの募集停止。
H22以降の入学者数は付属中からの内部進学者数。

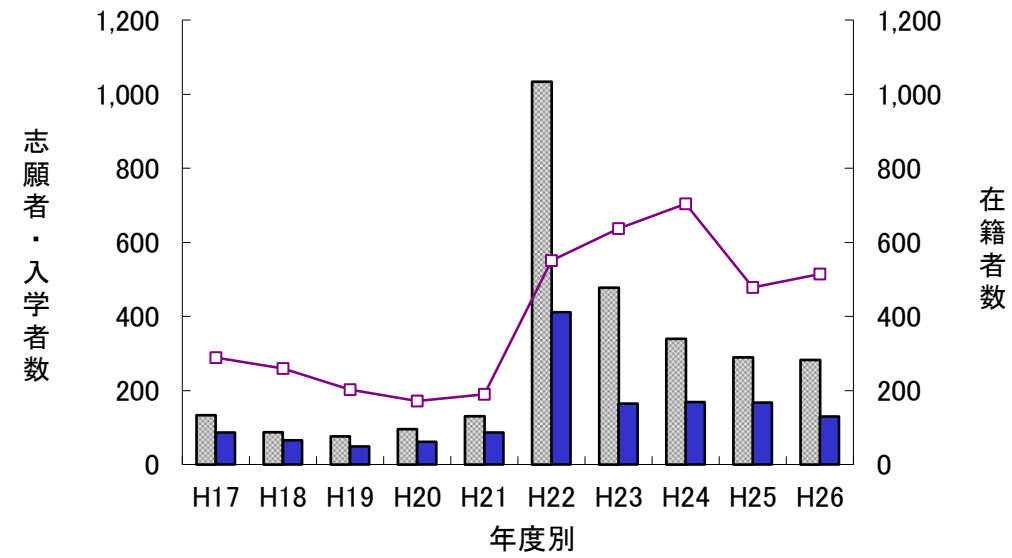
東京都市大学付属中学校



東京都市大学付属中学校

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	1,373	3,865	4,326	4,415	2,690	3,328	3,692	4,479	4,809	5,246
入学者数	188	228	240	247	256	249	248	290	259	252
在籍者数	588	596	653	712	740	746	745	776	786	795

東京都市大学等々力高等学校

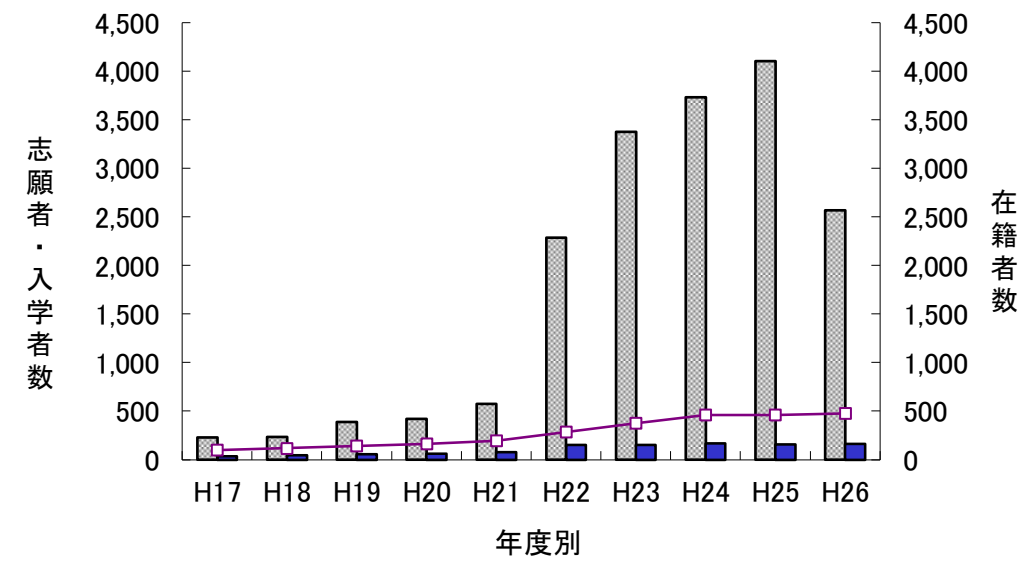


東京都市大学等々力高等学校

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	134	87	76	96	130	1,034	477	340	290	283
入学者数	87	66	49	61	86	411	165	169	168	130
在籍者数	289	259	203	172	190	551	637	704	478	515

注: 内部進学含む。H22～共学部開設、女子部募集停止(女子部は内部進学のみ)。
入学者数、在籍者数は等々力中からの「女子部」進学者を含む。

東京都市大学等々力中学校

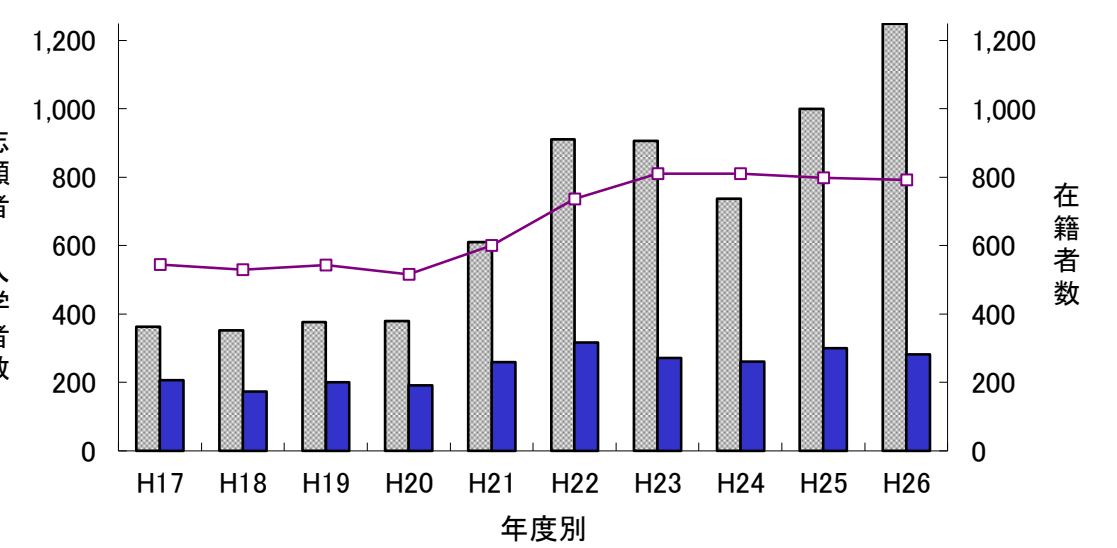


東京都市大学等々力中学校

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	227	232	386	423	575	2,288	3,377	3,731	4,103	2,567
入学者数	37	44	56	61	79	150	152	166	155	163
在籍者数	99	117	139	162	195	286	376	458	462	474

注: H22～共学部開設、H23～女子部募集停止。

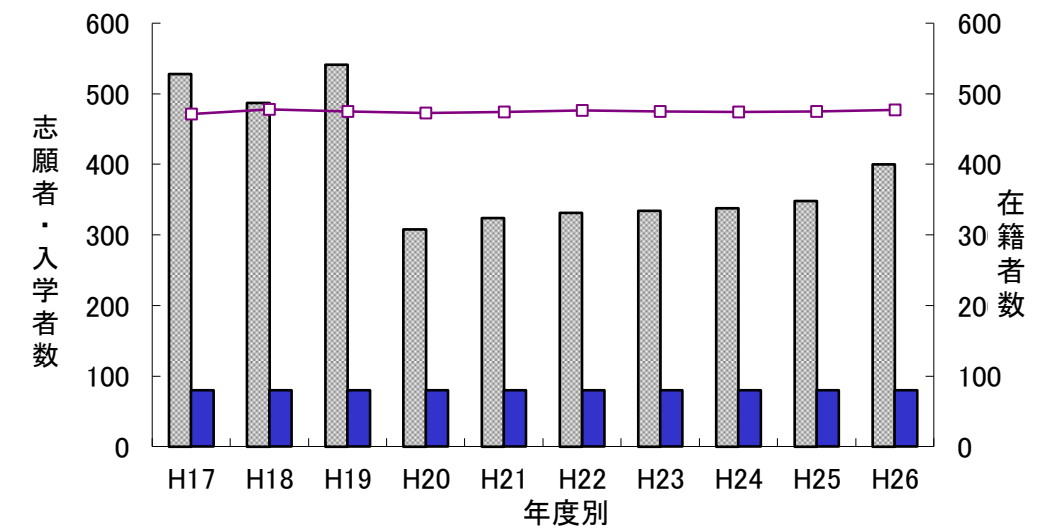
東京都市大学塩尻高等学校



東京都市大学塩尻高等学校

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	363	352	377	380	610	911	906	737	1,000	1,249
入学者数	207	173	201	192	259	317	272	261	300	282
在籍者数	544	530	543	516	601	736	811	811	799	793

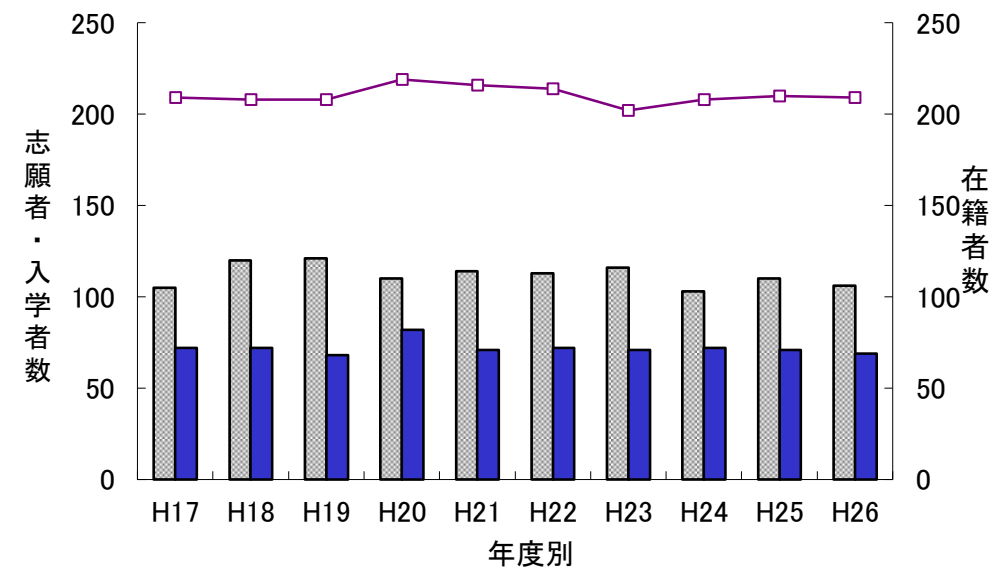
東京都市大学付属小学校



東京都市大学付属小学校

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	528	487	541	308	324	331	334	338	348	400
入学者数	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
在籍者数	471	478	475	473	474	476	475	474	475	477

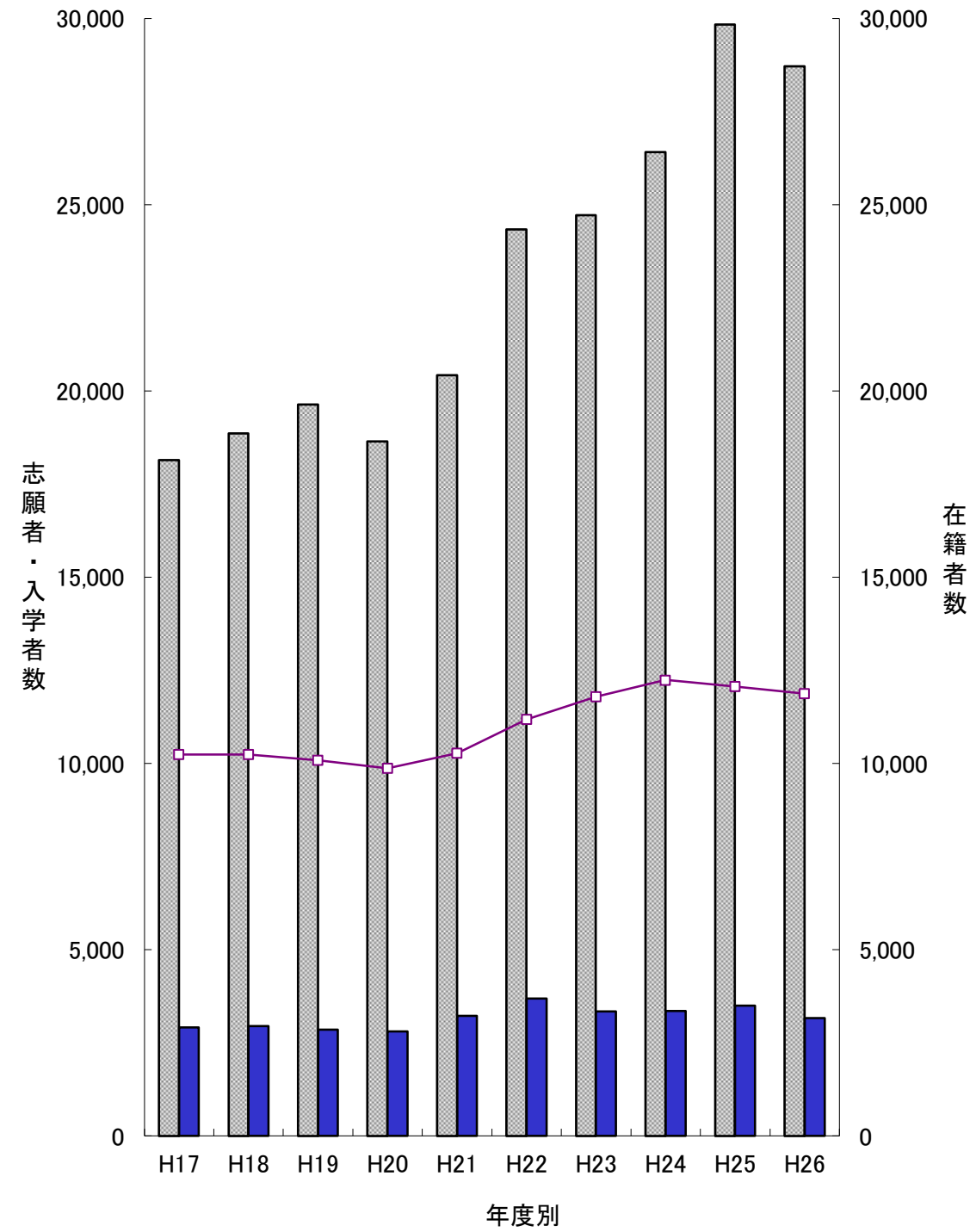
東京都市大学二子幼稚園



東京都市大学二子幼稚園

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	105	120	121	110	114	113	116	103	110	106
入学者数	72	72	68	82	71	72	71	72	71	69
在籍者数	209	208	208	219	216	214	202	208	210	209

五島育英会(東京都市大学グループ)総括



五島育英会総括

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	18,147	18,861	19,634	18,648	20,427	24,335	24,716	26,418	29,839	28,719
入学者数	2,920	2,956	2,862	2,805	3,225	3,694	3,346	3,357	3,501	3,164
在籍者数	10,248	10,245	10,090	9,871	10,276	11,189	11,788	12,241	12,063	11,873

※志願者数・入学者数に、H17まで東横学園大倉山高等学校、H20まで東横学園女子短期大学・東急自動車整備専門学校を含む。

※在籍者数に、H19まで東横学園大倉山高等学校(H20.3閉校)、H21まで東横学園女子短期大学(H22廃止)・東急自動車整備専門学校(H22廃止)を含む。

4 教職員の概要

(平成25年5月1日現在) (単位：人)

区 分	教員		職員	
	本務	兼務	本務	兼務
法人本部			40	1
東京都市大学	272	315	180	132
東京都市大学附属中学校・高等学校	71	42	8	0
東京都市大学等々力中学校・高等学校	57	33	7	2
東京都市大学塩尻高等学校	40	23	6	1
東京都市大学附属小学校	18	11	5	2
東京都市大学二子幼稚園	11	4	2	0
東急自動車学校			76	18
合 計	469	428	324	156

平均年齢 教員：47.5歳 職員：42.11歳

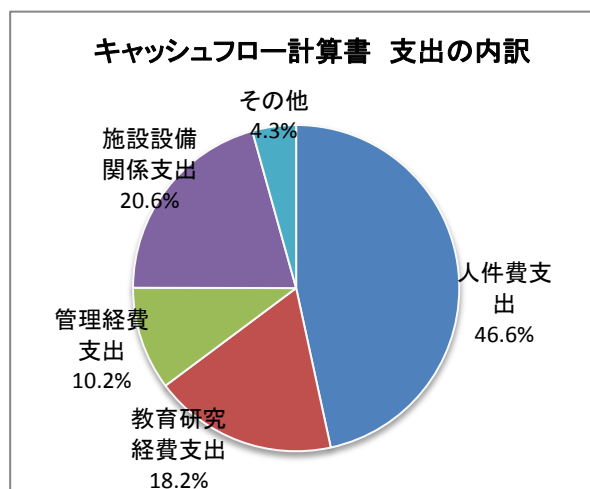
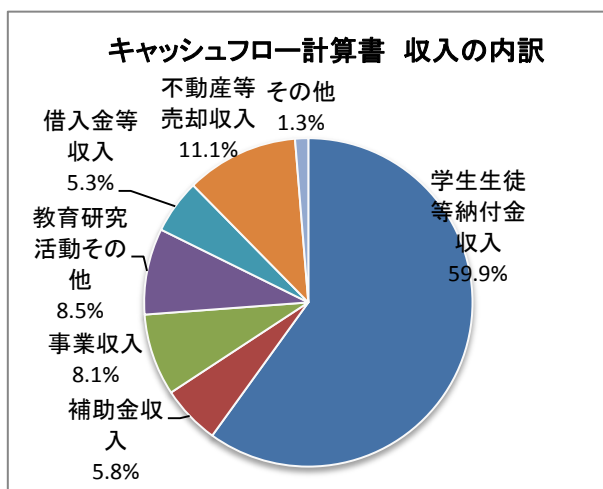
平均勤続年数：13.7年

5 財務の概要

■キャッシュフロー計算書(C/F)

(百万円)

科目	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)	2012年度 (平成24)	2013年度 (平成25)
事業活動によるキャッシュフロー					
i 教育研究活動によるキャッシュフロー					
学生生徒等納付金収入	11,741	12,518	13,076	13,542	13,496
手数料収入	555	539	540	614	600
寄付金収入	36	62	95	88	88
補助金収入	2,361	2,476	2,304	2,166	1,308
事業収入	1,426	1,192	1,461	1,657	1,814
退職金団体交付金収入	546	360	367	328	360
その他	3,049	1,657	948	1,089	862
小計(A)	19,717	18,807	18,793	19,487	18,532
人件費支出(退職金支出を除く)	8,541	8,399	8,576	8,667	8,692
退職金支出	1,032	590	763	688	677
教育研究経費支出	3,694	3,666	3,734	3,542	3,660
管理経費支出	2,813	2,240	2,110	1,995	2,059
その他	18	351	152	609	392
小計(B)	16,100	15,249	15,338	15,503	15,482
(A-B)	3,616	3,557	3,455	3,983	3,050
ii 施設等整備活動によるキャッシュフロー					
施設設備関係補助金収入	109	55	11	7	17
不動産等売却収入	2,531	2,121	3,568	66	2,493
小計(C)	2,640	2,176	3,579	74	2,510
施設関係支出	3,848	4,676	2,461	1,089	3,793
設備関係支出	1,049	773	431	458	510
その他	1,013	△ 71	49	63	△ 155
小計(D)	5,910	5,379	2,943	1,611	4,148
(C-D)	△ 3,270	△ 3,202	636	△ 1,537	△ 1,637
I 事業活動によるキャッシュフロー(i+ii)	346	355	4,092	2,446	1,412
財務活動によるキャッシュフロー					
資産運用収入	219	202	225	249	275
借入金等収入	0	0	0	2,000	1,200
その他	17	0	0	0	0
小計(E)	236	202	225	2,249	1,476
借入金等利息支出	99	86	73	60	49
借入金等返済支出	732	715	715	711	431
その他	0	0	0	0	0
小計(F)	832	801	788	771	481
II 財務活動によるキャッシュフロー(E-F)	△ 595	△ 599	△ 563	1,477	995
キャッシュフロー計(I+II)	△ 249	△ 244	3,529	3,924	2,407



■消費収支計算書(P/L)

(百万円)

科 目	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)	2012年度 (平成24)	2013年度 (平成25)
経常収支の部					
学生生徒等納付金	11,741	12,518	13,076	13,542	13,496
手数料	555	539	540	614	600
寄付金	100	154	169	153	168
補助金	2,470	2,531	2,316	2,173	1,325
資産運用収入	595	619	538	476	551
事業収入	1,426	1,192	1,461	1,657	1,814
雑収入(退職金団体交付金を除く)	2,866	178	196	182	160
退職金団体交付金	546	360	367	328	360
経常収入(A)	20,301	18,095	18,666	19,130	18,479
人件費(退職給与引当金繰入額を除く)	8,541	8,399	8,576	8,667	8,692
退職給与引当金繰入額	936	676	537	597	534
教育研究経費	5,470	5,588	5,738	5,475	5,551
(減価償却額)	(1,773)	(1,920)	(2,003)	(1,930)	(1,885)
管理経費	2,979	2,605	2,509	2,381	2,415
(減価償却額)	(164)	(364)	(387)	(384)	(356)
経常支出(B)	17,928	17,269	17,362	17,122	17,193
I 経常収支差額(A-B)	2,372	825	1,304	2,007	1,286
特別収支の部					
資産運用収入	219	201	224	249	275
資産売却差額	2,533	2,104	3,537	68	2,318
特別収入(C)	2,752	2,306	3,761	317	2,594
借入金等利息	99	86	73	60	49
資産処分差額他	271	281	534	177	25
特別支出(D)	371	367	607	238	75
II 特別収支差額(C-D)	2,381	1,938	3,153	79	2,518
III 帰属収支差額(I+II)	4,754	2,763	4,458	2,086	3,805
基本金組入額(E)	△ 2,877	△ 4,869	△ 2,751	△ 1,058	△ 2,201
消費収支差額(III+E)	1,877	△ 2,105	1,706	1,028	1,604
基本金取崩額	0	0	1,352	2	550

■貸借対照表(B/S)

(百万円)

科 目	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)	2012年度 (平成24)	2013年度 (平成25)
資産の部					
固定資産	84,926	87,524	92,797	95,306	98,192
有形固定資産	60,679	63,584	63,832	63,012	64,992
うち土地	23,691	25,704	26,017	26,017	27,790
うち建物	27,918	28,815	29,397	28,270	29,038
その他の固定資産	24,246	23,940	28,965	32,294	33,199
うち各種引当特定資産	20,784	20,324	25,600	28,946	29,860
流動資産	8,878	8,384	6,592	7,249	8,600
うち現金預金	6,885	6,995	5,236	5,772	6,121
うち有価証券	800	802	800	800	1,902
資産の部合計	93,804	95,909	99,389	102,556	106,792
負債・基本金および消費収支差額の部					
負債	15,697	15,038	14,059	15,140	15,570
固定負債	11,191	10,472	9,324	10,751	11,426
流動負債	4,506	4,565	4,735	4,388	4,143
うち借入金残高	4,692	3,977	3,263	4,552	5,320
基本金	85,259	90,128	91,527	92,583	94,234
消費収支差額	△ 7,152	△ 9,257	△ 6,198	△ 5,166	△ 3,012
純資産	78,107	80,871	85,329	87,416	91,221
負債・基本金および消費収支差額合計	93,804	95,909	99,389	102,556	106,792

6 寄付の受領について

平成25年度に受領した寄付は、次のとおりである。

種 別 学校名	現 金			現 物				合 計
	特定寄付金	一般寄付金	計	教育研究用 機器備品	図 書	用品・消耗品等	計	
	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)	件数(点) 金額(円)	件数(冊) 金額(円)	件数(点) 金額(円)	件数 金額(円)	件数 金額(円)
東京都市大学	43 件 48,695,560	8 件 110,000	51 件 48,805,560	130 点 63,556,563	522 冊 1,892,379	42 点 1,349,249	694 件 66,798,191	745 件 115,603,751
同 附属中学校・高等学校	- 件 -	- 件 -	- 件 -	- 点 -	1,035 冊 1,585,712	15 点 575,670	1,050 件 2,161,382	1,050 件 2,161,382
同 塩尻高等学校	375 件 24,662,000	- 件 -	375 件 24,662,000	- 点 -	35 冊 80,583	22 点 346,820	57 件 427,403	432 件 25,089,403
同 等々力中学校・高等学	- 件 -	- 件 -	- 件 -	- 点 -	4,900 冊 6,303,805	1 点 3,334,000	4,901 件 9,637,805	4,901 件 9,637,805
同 附属小学校	- 件 -	- 件 -	- 件 -	1 点 500,000	- 冊 -	- 点 -	1 件 500,000	1 件 500,000
同 二子幼稚園	- 件 -	- 件 -	- 件 -	- 点 -	- 冊 -	1 点 76,600	1 件 76,600	1 件 76,600
法人本部	3 件 14,500,000	1 件 1,000,000	4 件 15,500,000	8 点 0	- 冊 -	1 点 200,000	9 件 200,000	13 件 15,700,000
合 計	421 件 87,857,560	9 件 1,110,000	430 件 88,967,560	139 点 64,056,563	6,492 冊 9,862,479	82 点 5,882,339	6,713 件 79,801,381	7,143 件 168,768,941

7 土地・建物明細

平成26年5月1日現在の土地・建物面積は、下記のとおりである。

学校名		校地・校舎の状況				備考
東京 都 市 大 学	工学部・ 知識工学部	校地の内訳				世田谷キャンパス及び 原子力研究所・総合研 究所の計
		(校地計) 151,616.87 m ²	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
		(所 有) 121,314.87 m ²	123,778.47 m ²	24,732.79 m ²	3,105.61 m ²	
		(借 用) 130,302.00 m ²	寄宿舍・山荘	その他		
			0.00 m ²	0.00 m ²		
		校舎の内訳				
		(校舎計) 79,806.51 m ²	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
		(所 有) 79,806.51 m ²	66,470.69 m ²	3,170.51 m ²	5,796.40 m ²	
	(借 用), 0.00 m ²	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他		
		0.00 m ²	0.00 m ²	4,368.91 m ²		
	環境情報学部・ 環境学部・ メディア情報学部	校地の内訳				
		(校地計) 64,687.96 m ²	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
		(所 有) 64,687.96 m ²	27,560.97 m ²	10,705.80 m ²	1,818.23 m ²	
		(借 用) ,0.00 m ²	寄宿舍・山荘	その他		
			0.00 m ²	24,602.96 m ²		
		校舎の内訳				
(校舎計) 21,403.71 m ²		一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)		
(所 有) 21,403.71 m ²		16,078.11 m ²	1,602.60 m ²	1,296.38 m ²		
(借 用), 0.00 m ²	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他			
	0.00 m ²	0.00 m ²	2,426.62 m ²			
都市生活学部・ 人間科学部	校地の内訳					
	(校地計) 11,531.00 m ²	校舎敷地	屋外運動場	体育施設		
	(所 有) 11,531.00 m ²	9,017.00 m ²	2,514.00 m ²	0.00 m ²		
	(借 用), 0.00 m ²	寄宿舍・山荘	その他			
		0.00 m ²	0.00 m ²			
	校舎の内訳					
	(校舎計) 14,326.18 m ²	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)		
	(所 有) 14,326.18 m ²	11,766.88 m ²	0.00 m ²	1,742.77 m ²		
(借 用), 0.00 m ²	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他			
	0.00 m ²	0.00 m ²	816.53 m ²			

学校名		校地・校舎の状況				備考
東京 都 市 大 学	大学計 (①)	校地の内訳				・校舎面積に 渋谷サテライトクラス (197.62㎡) は 含めない。
		(校地計) 227,835.83㎡	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
		(所 有) 197,533.83㎡	160,356.44㎡	37,952.59㎡	4,923.84㎡	
		(借 用) 130,302.00㎡	寄宿舎・山荘	その他		
			0.00㎡	24,602.96㎡		
		校舎の内訳				
		(校舎計) 115,536.40㎡	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
		(所 有) 115,536.40㎡	94,315.68㎡	4,773.11㎡	8,835.55㎡	
		(借 用), 0.00㎡	体育施設	寄宿舎・山荘	部室その他	
			0.00㎡	0.00㎡	7,612.06㎡	
東京都市大学付属 中学校・高等学校 (②)	校地の内訳					
	(校地計) 19,455.00㎡	校舎敷地	屋外運動場	体育施設		
	(所 有) 19,455.00㎡	10,691.31㎡	8,763.69㎡	0.00㎡		
	(借 地) 0.00㎡	寄宿舎・山荘	その他			
		0.00㎡	0.00㎡			
	校舎の内訳					
	(校舎計) 16,618.54㎡	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)		
	(所 有) 16,618.54㎡	13,249.29㎡	2,790.33㎡	342.02㎡		
	(借 用), 0.00㎡	体育施設	寄宿舎・山荘	部室その他		
		0.00㎡	0.00㎡	236.90㎡		
東京都市大学等々力 中学校・高等学校 (③)	校地の内訳				総合グラウンドを含む (校地) 26,901.00㎡ (校舎) 950.87㎡	
	(校地計) 37,992.00㎡	校舎敷地	屋外運動場	体育施設		
	(所 有) 34,851.00㎡	5,335.51㎡	30,991.00㎡	1,665.49㎡		
	(借 用) 3,141.00㎡	寄宿舎・山荘	その他			
		0.00㎡	0.00㎡			
	校舎の内訳					
	(校舎計) 15,520.57㎡	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)		
	(所 有) 15,520.57㎡	10,383.60㎡	2,995.41㎡	341.02㎡		
	(借 用), 0.00㎡	体育施設	寄宿舎・山荘	部室その他		
		261.90㎡	0.00㎡	1,538.64㎡		

学校名	校地・校舎の状況				備考
東京都市大学塩尻 高等学校 (4)	校地の内訳				
	(校地計) 38,796.00 m ²	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
	(所 有) 38,796.00 m ²	18,793.84 m ²	16,121.00 m ²	1,879.16 m ²	
	(借 用) , , , 0.00 m ²	寄宿舍・山荘	その他		
		0.00 m ²	2,002.00 m ²		
	校舎の内訳				
	(校舎計) 11,181.82 m ²	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
	(所 有) 11,181.82 m ²	7,750.31 m ²	1,882.46 m ²	192.00 m ²	
	(借 用) , 0.00 m ²	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他	
		0.00 m ²	0.00 m ²	1,357.05 m ²	
東京都市大学付属 小学校 (5)	校地の内訳				
	(校地計) 7,588.00 m ²	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
	(所 有) 6,297.00 m ²	2,780.44 m ²	3,000.00 m ²	1,050.48 m ²	
	(借 用) 1,291.00 m ²	寄宿舍・山荘	その他		
		0.00 m ²	757.08 m ²		
	校舎の内訳				
	(校舎計) 5,978.51 m ²	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
	(所 有) 5,978.51 m ²	4,600.56 m ²	515.98 m ²	330.16 m ²	
	(借 用) 0.00 m ²	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他	
		531.81 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	
東京都市大学 二子幼稚園 (6)	校地の内訳				
	(校地計) 1,881.00 m ²	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
	(所 有) 1,881.00 m ²	1,078.78 m ²	802.22 m ²	0.00 m ²	
	(借 用) , , 0.00 m ²	寄宿舍・山荘	その他		
		0.00 m ²	0.00 m ²		
	校舎の内訳				
	(校舎計) 1,168.35 m ²	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
	(所 有) 1,168.35 m ²	1,029.15 m ²	139.20 m ²	0.00 m ²	
	(借 用) , , 0.00 m ²	体育施設	寄宿舍・山荘	部室その他	
		0.00 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	

学校名	校地・校舎の状況				備考
A 学校 (①～⑥) 計	校地の内訳				
	(校地計) 333,547.83 m ²	校舎敷地	屋外運動場	体育施設	
	(所 有) 298,813.83 m ²	199,036.32 m ²	97,630.50 m ²	9,518.97 m ²	
	(借 用) 134,734.00 m ²	寄宿舎・山荘	その他		
		0.00 m ²	27,362.04 m ²		
	校舎の内訳				
	(校舎計) 166,004.19 m ²	一般校舎	講堂・体育館	図書館(室)	
	(所 有) 166,004.19 m ²	131,328.59 m ²	13,096.49 m ²	10,040.75 m ²	
	(借 用), , 0.00 m ²	体育施設	寄宿舎・山荘	部室その他	
		793.71 m ²	0.00 m ²	10,744.65 m ²	
B 東急自動車学校	土地の内訳				
	(土地計) 35,476.88 m ²				
	(所 有) , 0.00 m ²				
	(借 用) 35,476.88 m ²				
C 法人本部 (基本財産)	土地の内訳				
	(土地計) 34,396.12 m ²	・道玄坂 (所有), 278.41 m ²			
	(所 有) 18,109.26 m ²	(借用), 163.86 m ²			
	(借 用) 16,286.86 m ²	・戸越 (所有), 503.33 m ²			
	・王禅寺 (所有), 8,975.00 m ²				
	・虹ヶ丘 (所有), 4,606.00 m ²				
	・野川 (所有), 1,985.52 m ²				
	・菅平 (所有) 11,761.00 m ²				
	・八ヶ岳 (借用) 16,123.00 m ²				
C 法人本部 (基本財産)	建物の内訳				
	(建物計) 5,355.24 m ²	・虹ヶ丘 (所有) 12,126.88 m ²			
	(所 有) 5,355.24 m ²	・野川 (所有), 2,985.94 m ²			
(借 用) , 0.00 m ²	・八ヶ岳 2棟 (所有), 2,342.42 m ²				

学校名	校地・校舎の状況		備考	
D 法人本部 (その他)	土地の内訳			
	運用土地 (土地計) 107,368.79 m ² (所 有) 107,368.79 m ²	・大沼 (所有) 107,368.79 m ²		
	建物の内訳			
	事業監理グループ管理建物 (建物計) 4,239.85 m ² (所 有) 4,239.85 m ²	・五島育英会ビル		
総計 (A~D 計)	土地総計 : 510,789.62 m² (所 有) : 424,291.88 m ² (借 用) ; 186,497.74 m ²			
	建物総計 : 179,064.46 m² (所 有) : 179,064.46 m ²			

8 その他

- (1) 当該年度の重要な契約
該当なし
- (2) 係争事件の有無とその経過
該当なし
- (3) 決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実
該当なし
- (4) キャンパス等施設所在地一覧

学校法人五島育英会

理事長 安達 功

法人本部

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル8階

東京都市大学

学長 北澤 宏一

世田谷キャンパス

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1

工学研究科・工学部・知識工学部

横浜キャンパス

〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3-3-1

環境情報学研究科・環境情報学部・環境学部・メディア情報学部

等々力キャンパス

〒158-8586 東京都世田谷区等々力8-9-18

環境情報学研究科・都市生活学部・人間科学部

原子力研究所

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺971

総合研究所

〒158-0082 東京都世田谷区等々力8-10-1

渋谷サテライトクラス

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビルB1階

東京都市大学・早稲田大学 共同原子力専攻

東京都市大学附属中学校・高等学校
〒157-8586 東京都世田谷区成城1-13-1 校長 小野 正人

東京都市大学等々力中学校・高等学校
〒158-0082 東京都世田谷区等々力8-10-1 校長 原田 豊

東京都市大学塩尻高等学校
〒399-0703 長野県塩尻市広丘高出2081 校長 赤羽 利文

東京都市大学附属小学校
〒157-0066 東京都世田谷区成城1-12-1 校長 重永 睦夫

東京都市大学二子幼稚園
〒158-0094 東京都世田谷区玉川2-17-10 園長 重永 睦夫

東急自動車学校
〒206-0035 東京都多摩市唐木田3-6 校長 白石 明

東京都市大学総合グラウンド
〒157-0077 東京都世田谷区鎌田1-16-1